

PowerShot N2

カメラユーザーガイド

日本語

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(11)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

- 右下のボタンをクリックすると、ページを移動できます。
 - ▶ : 次のページ
 - ◀ : 前のページ
 - 🔗 : リンクをクリックする直前に表示していたページ
- 右端にある章のタイトルをクリックすると、各章の先頭ページに移動します。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

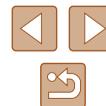
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引

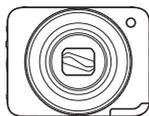


お使いになる前に

最初にお読みください

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



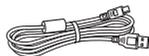
カメラ



バッテリーパック
NB-9L*



コンパクトパワー
アダプター
CA-DC30



インターフェース
ケーブル
IFC-400PCU



リストストラップ

* バッテリーに外装として貼り付けられているラベルは、はがさないでください。

- 上記のほか、印刷物一式が入っています。
- メモリーカードは付属されていません (📖3)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- microSD（マイクロエスディー）メモリーカード*
- microSDHC（マイクロエスディーエイチシー）メモリーカード*
- microSDXC（マイクロエスディーエックスシー）メモリーカード*



* SD規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

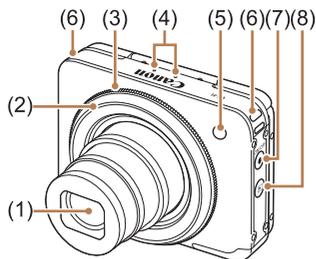
9 アクセサリー

10 付録

索引

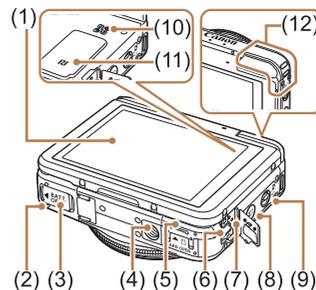


各部のなまえと記載について



- | | |
|--------------|-------------------|
| (1) レンズ | (5) ストロボ/ランプ (前面) |
| (2) シャッターリング | (6) ストラップ取り付け部 |
| (3) スームリング | (7) 電源ボタン/電源ランプ |
| (4) マイク | (8) [▶] (再生) ボタン |

- カメラのボタンやスイッチは、ボタンやスイッチに表記されている絵文字を使って示しています。
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ① : 知っていただきたい重要事項を示しています。
- 🍷 : 上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- 📖xx : 参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。



- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (1) 画面 (液晶モニター) | (7) USB 充電ランプ |
| (2) バッテリー収納部ふた | (8) [☑] (ワンタッチスマホ) ボタン |
| (3) DC カプラー端子カバー | (9) モードスイッチ |
| (4) 三脚ねじ穴 | (10) スピーカー |
| (5) カード収納部ふた | (11) [N] (N マーク) * |
| (6) DIGITAL (デジタル) 端子 | (12) Wi-Fi 通信部 |

* NFC 機能 (📶B3) で使います。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

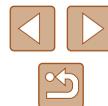
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



目次

お使いになる前に

最初にお読みください.....	2
カメラと付属品の確認.....	2
使えるカード（市販品）について.....	3
お使いになる前にお読みください.....	3
各部のなまえと記載について.....	4
やりたいこと目次.....	10
安全上のご注意.....	11

基本編

カメラの基本操作.....	14
画面をタッチして操作する.....	14
タッチ.....	14
ドラッグ.....	14
準備する.....	15
ストラップを取り付ける.....	15
バッテリーを入れて充電する.....	15
パソコンを使って充電する.....	16
バッテリーを取り出す.....	17
カードを入れる.....	17
カードを取り出す.....	17
日付／時刻を設定する.....	17
日付／時刻を変える.....	18
表示言語を選ぶ.....	19
使ってみる.....	19
撮る（こだわりオート）.....	19
見る.....	21

消す.....	22
---------	----

活用編

1 カメラを知る.....	23
電源の入れかた／切りかた.....	23
節電機能（オートパワーオフ）.....	24
撮影モードでの節電機能.....	24
再生モードでの節電機能.....	24
シャッターリングの押しかた.....	24
カメラを構える.....	25
撮影時の画面表示の切り換えかた.....	26
FUNC.（ファンクション）の表示と操作方法.....	27
MENU（メニュー）の表示と操作方法.....	28
文字の入力方法.....	29
漢字やひらがなを入力する.....	30
文字入力の設定を変える.....	30
半角スペースを使う.....	30
変換履歴を初期化する.....	30
ランプの表示.....	31
2 クリエイティブショットモード.....	32
写真や動画の楽しさを知る （クリエイティブショット）.....	32
写真の楽しさを知る.....	32
再生したときの表示について.....	33
効果を選ぶ.....	33
動画の楽しさを知る.....	33
クリエイティブショット動画の再生について.....	34
3 オートモード / プラスムービーオートモード.....	35
カメラまかせで撮る.....	35
オートモードで撮る（こだわりオート）.....	35

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



ブラスムービーオートモードで撮る.....	37
ダイジェスト動画の再生について.....	38
静止画.....	38
動画.....	39
シーンのアイコン.....	39
連続撮影されるシーン.....	40
手ブレ補正アイコン.....	41
画面に表示される枠.....	41
よく使う機能や便利な機能を使う.....	42
被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）.....	42
セルフタイマーを使う.....	42
セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ.....	43
画面をタッチして撮る（タッチシャッター）.....	43
ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（タッチ AF）.....	44
ストロボを光らせない.....	44
連続して撮る.....	45
個人認証機能を使って撮る.....	45
個人情報について.....	45
人物情報を登録する.....	46
撮る.....	47
登録した情報を確認／編集する.....	48
顔情報を入れ換え／追加する.....	49
登録した情報を消す.....	50
自分好みの画像を撮るための機能を使う.....	50
縦横比（アスペクト比）を変える.....	50
記録画素数（画像の大きさ）を変える.....	51
用紙の大きさと選ぶときの目安 （縦横比 4:3 のとき）.....	51
動画の画質を変える.....	51
撮影の手助けとなる機能を使う.....	52
グリッドラインを表示する.....	52
自分好みに機能を変える.....	52

AF 補助光（ランプ）を切る.....	52
撮影直後の画面表示を変える.....	53
撮影直後の画像表示時間を変える.....	53
撮影直後に表示される画面を変える.....	53
4 いろいろな撮影モード.....	54
自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮り）.....	54
暗い場所で撮る（ローライト）.....	56
魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）.....	57
ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）.....	57
倍速と再生時間の目安 （動画を 1 分間撮影したとき）.....	58
トイカメラのような効果をつけて撮る （トイカメラ風）.....	58
優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）.....	59
単色で撮る（モノクロ）.....	59
5 Pモード.....	60
プログラム AE で撮る（[P] モード）.....	60
明るさ（露出）に関する機能を使う.....	61
明るさを変える（露出補正）.....	61
測光方式を変える.....	61
ISO 感度を変える.....	62
色あいを調整する（ホワイトバランス）.....	62
ストロボモードを変える.....	63
オート.....	63
常時発光.....	63
発光禁止.....	63
撮影スタイルにあわせて機能を変える.....	63
手ブレ補正の設定を変える.....	63
撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影する.....	64
6 再生モード.....	65

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/ブラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



見る.....	65
表示を切り換える.....	66
高輝度（ハイライト）警告.....	67
ヒストグラム.....	67
GPS 情報表示.....	67
クリエイティブショットモードで記録した短編動画 （クリエイティブショット動画）を見る.....	67
静止画を撮影したときに作成された短編動画 （ダイジェスト動画）を見る.....	68
日付ごとに選んで見る.....	68
個人認証機能で検出された人を確認する.....	68
画像を探したり、特定の画像だけを見る.....	69
一覧表示（インデックス表示）で画像を探す.....	69
ズームリングで操作する.....	69
指定した条件で画像を探す.....	69
グループ化された画像を 1 枚ずつ見る.....	70
個人認証情報を編集する.....	71
名前を入れ換える.....	71
名前を消す.....	72
いろいろな方法で画像を見る.....	72
拡大して見る.....	72
素早く 2 回タッチして拡大する.....	73
ズームリングで操作する.....	73
スライドショーで見る.....	73
スライドショーをはじめると.....	73
消す.....	74
まとめて消す.....	74
指定方法を選ぶ.....	74
1 枚ずつ指定する.....	75
すべての画像を指定する.....	75
回転する.....	76
自動回転機能を切る.....	76

お気に入り設定をする.....	77
メニューから操作する.....	77
タッチアクションでかんたんに操作する.....	78
タッチアクションの機能を使う.....	78
タッチアクションの機能を変える.....	78
登録できる機能.....	78
静止画を編集する.....	79
赤目を補正する.....	79
動画を編集する.....	80
ファイルサイズを小さくする.....	81
短編動画を編集する.....	81
7 Wi-Fi 機能.....	82
Wi-Fi でできること.....	82
スマートフォンに画像を送る.....	83
ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る.....	83
Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する.....	85
ほかのアクセスポイントを使う.....	87
接続したことのあるアクセスポイントがあるとき.....	88
パソコンに画像を取り込む.....	88
パソコンを登録するための準備をする.....	88
パソコンの環境を確認する.....	88
インストールする.....	88
Wi-Fi 接続するための設定をする（Windows のみ）.....	90
カメラとパソコンと接続して画像を取り込む.....	90
アクセスポイントを確認する.....	90
WPS に対応したアクセスポイントを使う.....	91
一覧に表示されたアクセスポイントを使う.....	93
接続したことのあるアクセスポイントがあるとき.....	94
Web サービスを登録して画像を送る.....	94
利用する Web サービスの情報を登録する.....	94
CANON iIMAGE GATEWAY を登録する.....	94

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/ブラスマー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



他の Web サービスを登録する	96
Web サービスに画像を送る	97
プリンターにつないで画像を印刷する	98
別のカメラに画像を送る	99
画像送信について	100
複数の画像を送信する	100
画像送信時の注意事項	101
記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ	101
コメントを入力して送信する	102
画像を自動で送る（クラウドシンクロ）	102
準備する	102
パソコンの準備をする	102
カメラの準備をする	103
画像を送る	103
スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する	104
カメラ内の画像に GPS 情報を記録する	104
リモート撮影をする	105
Wi-Fi の設定を編集 / 消去する	106
接続情報を編集する	106
接続先のニックネームを変更する	106
接続情報を消去する	106
Wi-Fi の設定を初期化する	107
8 設定メニュー	108
カメラの基本機能を変える	108
音を鳴らさない	108
音量を変える	108
日付 / 時刻を変える	109
世界時計を使う	109
レンズ収納時間を変える	109
エコモードを使う	110

画面の明るさを変える	110
カードを初期化する	110
カードを物理フォーマット（初期化）する	111
距離表示の単位を変える	111
タッチパネルの感度を上げる	111
認証マークを確認する	112
表示言語を変える	112
その他の基本機能を変える	112
カメラの設定を初期状態に戻す	112
9 アクセサリー	113
システムマップ	113
別売アクセサリー	114
電源	114
プリンター	114
別売アクセサリーの使いかた	115
バッテリーチャージャーでバッテリーを充電する	115
家庭用電源でカメラを使う	115
ソフトウェアを使う	116
ソフトウェアについて	116
ソフトウェアの使用説明書	116
ケーブルを使ってパソコンと接続する	117
パソコンの環境を確認する	117
インストールする	117
画像をパソコンに取り込む	117
印刷する	119
かんたん印刷	119
印刷設定をする	120
用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する	120
レイアウトで設定できる項目	121
動画を印刷する	121
動画の印刷方法	121

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

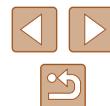
索引



フォトブック指定.....	121
指定方法を選ぶ.....	121
1枚ずつ指定する.....	122
すべての画像を指定する.....	122
すべての指定を解除する.....	122
10 付録.....	123
故障かな?と思ったら.....	123
画面に表示されるメッセージ一覧.....	127
画面の表示内容一覧.....	129
撮影時 (情報表示あり).....	129
バッテリーの残量表示.....	129
再生時 (詳細情報表示).....	130
動画操作パネル一覧.....	130
機能/メニュー 一覧.....	131
撮影機能一覧.....	131
FUNC. メニュー 一覧.....	131
撮影タブメニュー 一覧.....	132
設定タブメニュー 一覧.....	133
再生タブメニュー 一覧.....	134
再生モードの FUNC. メニュー 一覧.....	134
日ごろの取り扱いについて.....	134
主な仕様.....	135
カメラの仕様について.....	135
Wi-Fi.....	135
デジタルズームの焦点距離 (35mm フィルム換算).....	135
撮影できる枚数・時間、再生できる時間.....	136
1枚のカードに撮影できる枚数 (縦横比 4 : 3 のとき).....	136
1枚のカードに撮影できる時間.....	136
ストロボ調光範囲.....	137

撮影距離.....	137
連続撮影の速さ.....	137
シャッタースピード.....	137
絞り.....	137
バッテリーパック NB-9L.....	137
コンパクトパワーアダプター CA-DC30.....	137
索引.....	138
Wi-Fi (無線 LAN) について.....	140
電波干渉について.....	140
セキュリティーについて.....	140
アフターサービス期間について.....	141
商標、ライセンスについて.....	141
このガイドについて.....	142
製品取り扱い方法に関するご相談窓口.....	142
修理受付窓口.....	142
キヤノンデジタルカメラホームページのご案内.....	142

お使いになる前に
基本編
活用編
1 カメラを知る
2 クリエイティブショット モード
3 オートモード/ブラスルー ピーオートモード
4 いろいろな撮影モード
5 Pモード
6 再生モード
7 Wi-Fi機能
8 設定メニュー
9 アクセサリー
10 付録
索引



やりたいこと目次

📷 撮る

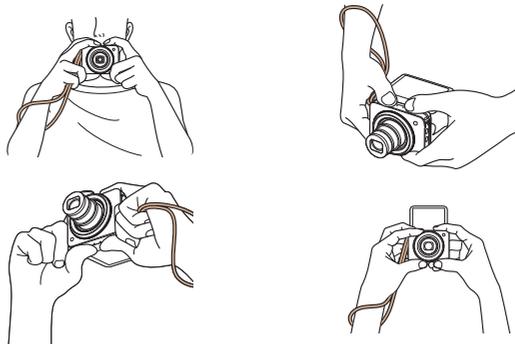
- 写真や動画の楽しさを知りたい (クリエイティブショット)
- ㊦32
- 写真の楽しさを知りたい
- ㊦32



- 動画の楽しさを知りたい
- ㊦33



- いろいろなアングルで写真を撮りたい
- ㊦25



- 自分撮りに最適な設定で撮りたい (自分撮り)
- ㊦54



📺 見る

- 画像を見たい
- ㊦65
- 画像を消したい
- ㊦74
- Wi-Fi 機能で画像を共有したい
- ㊦82

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

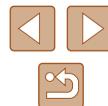
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



安全上のご注意

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせて参照してください。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを人の目に近づけて発光しない。視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。
- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。電源コードを使用する製品では、電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。日付 / 時刻用電池が取り出せる機種では、電池を誤って飲み込むと危険です。万が一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 外装としてラベルが貼り付けられているバッテリーでは、ラベルをはがさない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体で濡らしたり、内部に液体や異物を入れない。感電、火災の原因となります。

液体で濡れたり、内部に液体や異物が入ったときは、バッテリーや電池を使用する製品では、それらを取り外し、家庭用電源を使用する製品では、コンセントから抜いてください。

- ファインダーがある製品では、ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。視力障害の原因となることがあります。
- 家庭用電源を使用する製品では、雷が鳴り出したら製品に触れない。感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、製品から離れてください。
- 指定外のバッテリーや電池は使わない。
- バッテリーや電池は火に近づけたり、火の中に投げ込まない。バッテリーや電池が破裂や液漏れし、感電、けが、火災の原因となることがあります。漏れた電解液が、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。
- バッテリーチャージャーを使用する製品では、次のことに注意する。
 - 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
 - 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
 - コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分のまま使わない。
 - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。
 - 電源コードを使用する製品では、電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。感電、火災の原因となります。
- カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリ

10 付録

索引



- 長時間、身体と同じ部位に触れたまま使わない。熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。



注意

傷を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。
- レンズを強く押ししたり、ぶつけたりしない。けがやカメラの故障の原因となることがあります。
- 液晶モニターに強い衝撃を与えない。液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。
- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。やけどや故障の原因となることがあります。
- 次の場所で使用・保管しない。
 - 直射日光のあたる場所
 - 40℃を超える高温になる場所
 - 湿気やホコリの多い場所
 バッテリーや電池の液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。発熱、破損により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。
- 長時間画面を見ていると、不快感を感じるがありますのでご注意ください。
- 別売のオプションレンズ、レンズフィルター、フィルターアダプターを使用する製品では、確実に取り付ける。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボが下がる時に指をささないようにする。けがの原因となることがあります。



注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。
- 砂浜や風の強い場所で使用するとき、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。
- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボを押し込んだり、つまみ上げたりしない。故障の原因となることがあります。
- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。
- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。液漏れにより故障の原因となることがあります。
- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引

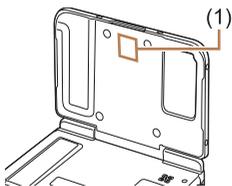


- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。バッテリーに嘔みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。故障の原因となることがあります。

- 液晶モニターにクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけない。液晶モニターの裏には磁石(1)が取り付けられているため、データを損なうおそれがあります。



- ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。液晶モニターの破損の原因となります。

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。また、液晶モニターが閉じられる製品では、液晶モニターを内側に向けて閉じる。

- ストラップにアクセサリを付けない。硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



基本編

カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

画面をタッチして操作する

このカメラの画面はタッチパネルになっているため、指で画面をタッチ（触れて）して直感的に操作できます。

タッチ



画面を指で押して放す

- いろいろな機能の設定や、撮影するときなどに使います。

ドラッグ



指を画面に触れたまま移動する

- 再生モードで、次の画像に表示を切り換えるときや、拡大表示する範囲を変えるときなどに使います。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

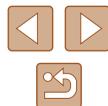
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

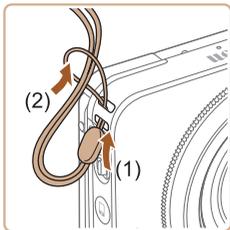
索引



準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける



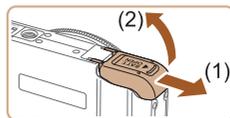
- (1) ストラップの先端を取り付け部に通して、(2) 通した先端にストラップを通します。



- ストラップは左手側に取り付けることもできます。

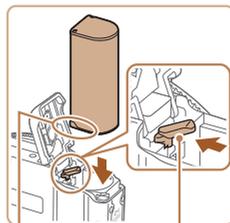
バッテリーを入れて充電する

付属のバッテリーをカメラに入れて充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていないので、必ず充電してからお使いください。



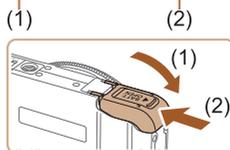
1 ふたを開ける

- (1) の方向にふたを動かして、(2) の方向へふたを開けます。



2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部 (1) を図の向きにして、バッテリーロック (2) を矢印の方向へ動かし、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。



3 ふたを閉める

- ふたを (1) の方向にたおして押さえたまま、(2) の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

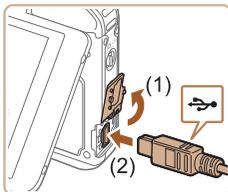
8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

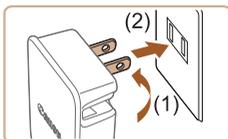
索引





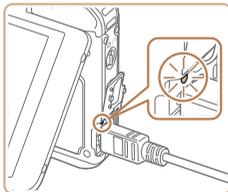
4 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、付属のインターフェースケーブル (図2) の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。
- インターフェースケーブルの大きい方のプラグを付属のコンパクトパワーアダプターに差し込みます。



5 充電する

- プラグを (1) の方向へおこして、(2) コンセントに差し込みます。



- 充電がはじまり、USB 充電ランプが点灯します。
- 充電が完了すると、ランプは消灯します。
- コンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、カメラからインターフェースケーブルを外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。



- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(図136) を参照してください。
- 充電中でもカメラの電源を入れると、充電しながら、再生モードで画像を見ることができます (図21)。ただし、撮影はできません。また、バッテリーを入れていないとカメラは使えません。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

パソコンを使って充電する

「バッテリーを入れて充電する」の手順4 (図16) で、インターフェースケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子につないで充電することもできます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



- パソコンによってはカードを入れていないと充電できないことがあります。カメラにカードを入れてから (図17)、パソコンの USB 端子につないでください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラススーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

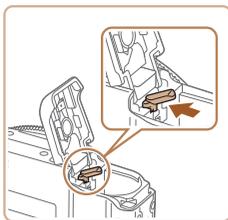
9 アクセサリー

10 付録

索引



■ バッテリーを取り出す

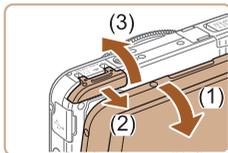


- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。

カードを入れる

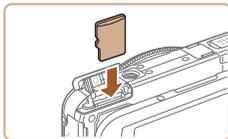
カード（市販品）をカメラに入れます。

なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（[P.110](#)）することをおすすめします。



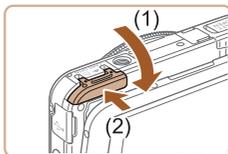
1 ふたを開ける

- モニターを開きます（1）。
- (2) の方向にふたを動かして、(3) の方向へ開けます。



2 カードを入れる

- カードを図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



3 ふたを閉める

- ふたを (1) の方向にたおして押さえたまま、(2) の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



- 1 枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4 : 3 のとき）」（[P.136](#)）を参照してください。

■ カードを取り出す



- ふたを開け、「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

日付／時刻を設定する

電源を入れたときに【日付／時刻】画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 【日付／時刻】画面が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





2 日付／時刻を設定する

- 設定する項目をタッチしたあと、[▲] か [▼] をタッチして設定します。
- すべての項目を設定したら、[次へ] をタッチします。



3 自宅のエリアを設定する

- [◀] か [▶] をタッチして自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- [設定完了] をタッチすると、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。



- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに [日付／時刻] 画面が表示されます。正しく設定してください。



- 手順2で [時] をタッチして [分] にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。

1 メニューを表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと、[MENU] をタッチします。

2 [日付／時刻] を選ぶ

- [日付／時刻] タブをタッチします。
- 画面を上下方向にドラッグして [日付／時刻] を選びます。
- [日付／時刻] をタッチします。

3 日付／時刻を変える

- 「日付／時刻を設定する」の手順2 (17) の操作で設定します。
- [戻る] を2回タッチすると、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約3週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、バッテリーを充電するか、ACアダプターキット（別売）(114) を使うと、カメラの電源を入れなくても約4時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付／時刻] 画面が表示されます。「日付／時刻を設定する」(17) の操作で正しく設定してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。

2 設定画面を表示する

- 設定画面が表示されるまで [MENU] をタッチしたままにします。

3 言語を設定する

- 表示したい言語をタッチして選び、もう一度選んだ言語をタッチします。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- カード内に画像があるときは、画面左下の [FUNC.] をタッチして、[MENU] を表示します。



- 言語設定は、[FUNC.]、[MENU] の順にタッチすると表示されるメニュー画面で、[↑] タブの [言語] を選んで設定することもできます。

使ってみる

▶ 静止画 ▶ 動画

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

撮る (こだわりオート)

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードスイッチを [CAMERA] にします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- [AUTO] をタッチし、[▲] か [▼] をタッチしたり、画面を上下方向にドラッグして、[AUTO] をタッチします。
- [OK] をタッチして決定します。
- カメラを被写体に向けてと、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。

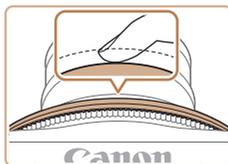


- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームリングを [M] の方向に回すと撮りたいものが大きくなり、[T] の方向に回すと小さくなります。



4 撮影する

静止画を撮る

1) ピントを合わせる

- シャッターリングを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。

2) 撮影する

- シャッターリングを深く押し込みます。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





(1)



(2)



- 手順2でモードスイッチを[]にすると、撮影するだけのかんたん操作で、写真や動画の楽しさを知るきっかけとなる新しい表現や新しい発見に出会えるような画像をカメラが提案します(クリエイティブショットモード)(132)。

動画を撮る

1) 撮影をはじめると

- 【●】をタッチすると、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、【●録画】と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。

2) 撮影を終える

- 【■】をタッチすると、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



(2)

(1)



1 再生モードにする

- 【▶】ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

2 画像を選ぶ

- 画面を左方向にドラッグすると次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。

- 画面右端(1)をタッチすると、[▶]が表示され、次の画像が表示されます。画面左端(2)をタッチすると、[◀]が表示され、前の画像が表示されます。

- [◀]か[▶]をタッチしたままにすると、画像が速く切り換わります。

- 動画では、[▶]が表示されます。動画を再生するときは手順3に進みます。

3 動画を再生する

- 【▶】をタッチすると再生がはじまります。
- 音量は、再生中に画面を上下方向に素早くドラッグして調節します。
- 再生が終わると【●】が表示されます。



- レンズが出ているときは再生モードの状態ではシャッターリングを半押しすると撮影モードになります(充電時(15)を除く)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/オートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



消す

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 消したい画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。



2 消す

- [FUNC.] をタッチしたあと、画面を上下方向にドラッグして [🗑️] を選び、タッチします。



- [消去しますか?] が表示されたら、[消去] をタッチします。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[キャンセル] をタッチします。



- タッチアクションで消すこともできます (📖78)。
- 画像をまとめて消すこともできます (📖74)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



カメラを知る

カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- [▶] ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- 電源が入っているときは、[▶] ボタンを押すたびに、再生モード、撮影モードが切り替わります。
- 電源ボタンを押すと、電源が切れます。



- レンズが出ているときは再生モードの状態ではッターリングを半押し (P24) すると、撮影モードになります (充電時 (P15) を除く)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消費を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

■ 撮影モードでの節電機能

約1分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約2分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターリングを半押し（[図24](#)）すると画面が表示され、撮影できます。

■ 再生モードでの節電機能

約5分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

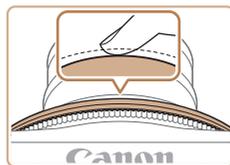


- インターフェースケーブルでパソコンとつないでいるとき（[図117](#)）、Wi-Fiでほかの機器と接続しているとき（[図82](#)）は、節電機能は働きません。

シャッターリングの押しかた

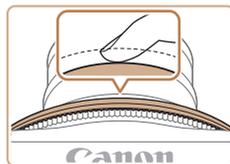
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターリングを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターリングの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



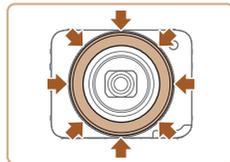
1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。
- シャッターリングは下や左右、斜めなど、全方向から、半押し、全押しすることができます。



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- シャッターリングを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

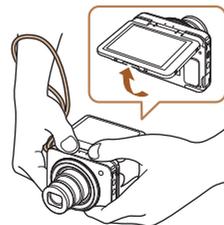
カメラを構える

このカメラは通常の構えかたによる撮影をはじめ、新たな撮影スタイルの発見に出会えるきっかけとなるような、自由なアングル（フリースタイル）によるいろいろな構えかたで撮影することができます。



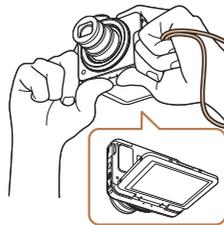
通常撮影の構えかた

- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないように両手でしっかりと構え、ストロボに指がかからないようにしてください。
- シャッターリングを押しやすい方向から、レンズの中心に向かって押すと撮影されます。



ローアングルの構えかた

- カメラを目線より低い位置に構えて、液晶モニターを見やすい角度に調整します。
- シャッターリングは上下左右や斜めから押すことができます。撮りたい被写体や構図にあわせて、構え方を変えても、楽な姿勢で撮影できます。



ハイアングルの構えかた

- カメラの上下を逆さまにすると画面の表示も上下が反転しますので、カメラを目線より高い位置に構えて、液晶モニターを見やすい角度に調整します。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラズムーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





自分撮りの構えかた

- 液晶モニターを 180 度開くと画面の表示も反転しますので、ストラップを手首に通した方の手でカメラをしっかり構えます。
- 画面の左下に [i] が表示されているときは、[i] をタッチすると [i] モード (p54) になります。



- カメラを使わないときは、閉じた状態で保管してください。
- 液晶モニターは、約 180° まで開きます。故障の原因となるため無理に広げないでください。

撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、[DISP] をタッチして切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「画面の表示内容一覧」(p129) を参照してください。

	情報表示あり
	情報表示なし



- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります (ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります (記録される画像に影響はありません)。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(p66) を参照してください。

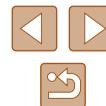
お使いになる前に

基本編

活用編

- 1 カメラを知る
- 2 クリエイティブショットモード
- 3 オートモード/ブラスルービーオートモード
- 4 いろいろな撮影モード
- 5 Pモード
- 6 再生モード
- 7 Wi-Fi機能
- 8 設定メニュー
- 9 アクセサリー
- 10 付録

索引



FUNC. (ファンクション) の表示と操作方法

よく使う機能は、FUNC. で設定できます。

なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード (P131) や再生モード (P134) によって変わります。



1 FUNC. のメニュー項目を表示する

- [FUNC.] をタッチします。



2 メニュー項目を選ぶ

- メニュー項目 (1) を上下方向にドラッグするか、タッチして選びます。
- メニュー項目以外の場所を上下方向にドラッグすることでも選べます。
- 選んだメニュー項目をもう一度タッチするか、右側の項目 (2) をタッチします。

3 項目を選ぶ

- 項目を上下方向にドラッグするか、タッチして選びます。
- 項目以外の場所を上下方向にドラッグすることでも選べます。

4 設定を終える

- 選んだ項目をもう一度タッチするか、[↩] をタッチします。
- 手順 1 で [FUNC.] をタッチする前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (P112)。
- 手順 2 の画面で、右側のメニューの項目をタッチすることでも項目を選べます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

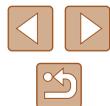
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



MENU (メニュー) の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影 [📷] や再生 [▶] などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード (📖 132 ~ 📖 134) によって変わります。

1 メニューを表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと、[MENU] をタッチします。



2 タブを選ぶ

- タブをタッチして、タブを選びます。



3 項目を選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグするか、項目をタッチして選びます。
- 内容が表示されていない項目では、項目をタッチして画面を切り換えたあと、さらに画面を上下方向にドラッグするか、項目をタッチして選びます。
- [↶] をタッチすると、切り換える前の画面に戻ります。

4 内容を選ぶ

- 内容の左右に [◀] と [▶] が表示される項目では、[◀] か [▶] をタッチします。
- バーが表示される項目では、バーの上で設定したい位置をタッチします。

5 設定を終える

- [↷] をタッチすると、手順1で [FUNC.] をタッチする前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (📖 112)。
- 手順2でズームリングを動かしてタブを選ぶこともできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラズームビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

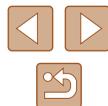
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



文字の入力方法

個人認証機能 (📖45) や Wi-Fi 機能 (📖82) などでは文字を入力するときは、キーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。

(1) 文字を入力する



- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。
- [確定] をタッチして文字を確定します。
- 入力できる文字数 (1) は機能によって異なります。

入力位置を移動する

- [←] か [→] をタッチします。

改行する

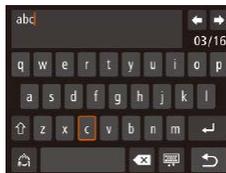
- [↵] をタッチします。

文字の種類を変える

- [ABC] [123] [#\$%] をタッチします。
- 文字の種類は機能によって異なります。

文字を消す

- [✕] をタッチすると前の 1 文字が消去されます。



キーボードの種類を変える

- [📄] をタッチするとこの画面が表示されます。
- 文字をタッチして入力します。
- この画面で [📄] をタッチすると、数字や記号など文字の種類を切り換えることができます。
- [⇧] をタッチすると、大文字を入力できます。

もとの画面に戻る

- [↶] をタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

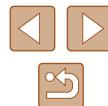
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



漢字やひらがなを入力する

個人認証機能の人物名(📖46)とWi-Fi機能のコメント入力(📖102)にはひらがなや漢字も使うことができます。



文字の種類を変える

- [あいう] をタッチします。

文字を入力する

- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。

文字を変換する

- [変換] をタッチします。

文字を確定する

- [確定] をタッチします。

文字入力の設定を変える

文字入力に関する設定を変えることができます。

■ 半角スペースを使う



- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[↑↑] タブの [日本語入力設定] を選び、タッチします (📖28)。
- [スペースの設定] を選んでから、[常に半角を使う] を選びます。

■ 変換履歴を初期化する



- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[↑↑] タブの [日本語入力設定] を選び、タッチします (📖28)。
- [変換履歴の初期化] を選んでから、[はい] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

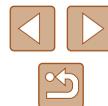
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



ランプの表示

カメラのランプ (4) は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

ランプ	色	状態	操作状態
電源ランプ	緑	点灯	パソコン接続時 (117)、画面消灯時 (ディスプレイオフ) (24、110)
		点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、Wi-Fi 接続中／データ送受信中
USB充電ランプ	オレンジ	点灯	充電中
		点滅	充電エラー



- 電源ランプが緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード収納部やバッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



2

クリエイティブショットモード

カメラまかせで多彩な静止画を撮る

写真や動画の楽しさを知る（クリエイティブショット）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影するだけのかんたん操作で、写真や動画の楽しさを知るきっかけとなる新しい表現や新しい発見に出えるような画像をカメラが提案します。

写真の楽しさを知る

シャッターリングを1回押すと3回連続撮影されて、カメラが被写体や撮影シーンを判別して多彩な効果をつけたり、被写体の切り出しなどを自動的に行うことで、写真の楽しさを知るきっかけとなる5枚の画像と通常画像1枚を加えた計6枚の画像を記録することができます。



1 [📷] モードにする

- モードスイッチを [📷] にします。

2 撮影する

- シャッターリングを全押しすると3回連続して撮影されますので、シャッター音が3回鳴るまではカメラをしっかりと構え続けてください。
- 6枚の画像が順番に表示されたあと、すべての画像が約2秒間表示されます。
- 画像を選んでタッチすると、その画像が画面いっぱいに表示されます。[↶] をタッチするともとの表示に戻ります。



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 6枚の画像が手順2のような並びで表示されるのは、撮影直後のみとなります。

再生したときの表示について

1回の撮影で記録された6枚の画像が1つのグループにまとめられ（グループ化）、通常画像のみが表示されます。



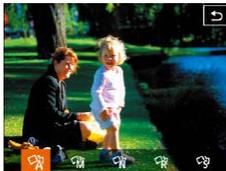
- グループ化された画像を消す（[74](#)）と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。



- グループ化された画像を1枚ずつ見たり（[70](#)）、グループ化を解除できます（[70](#)）。
- 画像の検索（[69](#)）で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて1枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、個人認証情報の編集（[71](#)）、拡大（[72](#)）、お気に入り設定（[77](#)）、編集（[79](#)）、印刷（[119](#)）、フォトブック指定（[121](#)）はできません。グループ化された画像を1枚表示（[70](#)）にするか、グループ化を解除（[70](#)）してから行ってください。

効果を選ぶ

記録する画像の効果の傾向を選ぶことができます。



- [[効果](#)] モードを選んだあと、[[効果](#)] をタッチします。
- 効果を選び、タッチします。

オート	すべての効果
レトロ	古い写真のような雰囲気の効果
モノクロ	単色の効果
スペシャル	特殊で大胆な効果
ナチュラル	自然な印象の抑えめな効果

動画の楽しさを知る

動画を撮影すると、カメラが被写体や撮影シーンを判別して、自動的にスローモーションや早送りなど多彩な効果をつけます。また、最大40分の動画を自動的にまとめて動画の楽しさを知るきっかけとなる15～25秒程度の短編動画（クリエイティブショット動画）を記録します。なお、音声は記録されません。



1 [[効果](#)] モードにする

- モードスイッチを [[効果](#)] にします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラズモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





2 1つ目の動画を撮影する

- [●] をタッチすると撮影がはじまり、撮影時間に連動したバーが表示されます。
- 3～6秒の動画が記録されると、自動的に撮影が終わります。

3 2～4つ目の動画を撮影する

- 手順2の操作を3回繰り返して、4つの動画を撮影します。



- 動画の数が4つに達していなくても、日付が変わると別ファイルとして保存されます。



- 動画にかかる効果の傾向は、1～4つ目の動画まで同じになりますが、動画ごとに変えることもできます (P33)。
- チャプターを使って編集することもできます (P81)。

■ クリエイティブショット動画の再生について

[<>] モードで撮影したクリエイティブショット動画を選んで再生することができます (P67)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

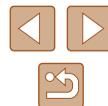
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



3

オートモード/ プラスムービーオートモード

かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

オートモードで撮る（こだわりオート）

▶ 静止画 ▶ 動画



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードスイッチを [カメラ] にします。



- [AUTO] をタッチし、[▲] か [▼] をタッチしたり、画面を上下方向にドラッグして、[AUTO] をタッチします。
- [OK] をタッチして決定します。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムービー
オートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます (図39、図41)。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



(1)



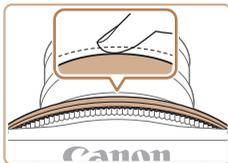
3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームリングを [ZOOM] の方向に回すと撮りたいものが大きくなり、[ZOOM] の方向に回すと小さくなります (ズームの位置を示すズームバー (1) が表示されます)。

4 撮影する 静止画を撮る

1) ピントを合わせる

- シャッターリングを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。
- 複数の AF フレームが表示されたときは、表示されたすべての AF フレームにピントが合っています。



(1)



2) 撮影する

- シャッターリングを全押しします。
- シャッター音が鳴り、撮影されます (暗いところでは自動的にストロボが光ります)。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。

動画撮る

1) 撮影をはじめ

- [●] をタッチすると、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画] と撮影時間 (1) が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。

2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3 (図35) と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





3) 撮影を終える

- [] をタッチすると、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 [] モードにする

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順2（[35](#)）の操作で [] を選びます。

2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順3～4（[35](#)）の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。

3 撮影する

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順4（[35](#)）の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の1シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1つのチャプターになります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、[AUTO]モードよりバッテリーの消費が早くなります。
- 電源を入れたり [電源] モードを選ぶ、カメラを上下逆さまにするなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音が録音されません。



- ダイジェスト動画の画質は、[HD 30P] に固定されます。
- シャッターリングを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音 (p.108) は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に [静止画] モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 13 分 20 秒になったとき
 - サマータイムの設定 (p.17) やエリア設定 (p.109) を変えたとき
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU (p.28) で [カメラ] タブの [ダイジェスト形式] を選び、[静止画なし] を選んでください (p.28)。
- チャプターを使って編集することもできます (p.81)。

ダイジェスト動画の再生について

[再生] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます (p.68)。

静止画



- [Q] が点滅表示したときは手ブレしやすいので、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」(p.137) を参照してください。
- シャッターリングを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と 1 回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲 (撮影範囲) は、「撮影距離」(p.137) を参照してください。
- 暗いところでシャッターリングを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ (前面) が点灯することがあります。
- 「寝顔」「赤ちゃん (寝顔)」のアイコン (p.39) が表示されているときは、撮影時にシャッター音は鳴りません。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。



- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます (p.53)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

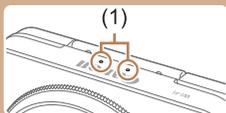
索引



動画



- 長時間の動画撮影を繰り返し行くと、カメラの温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。
- 動画撮影するときは、マイク(1)をふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に画面のタッチ操作以外をすると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさを撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください(463)。



- 音声はステレオで録音されます。

シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

[] [AUTO] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。また、シーンによっては連続撮影します(40)。

被写体	背景				
	通常	逆光	暗い*1	夕景	スポットライト
人	*2	*3		—	
人(動いているとき)	*3	*3	—	—	—
人(顔の一部が暗いとき)	*2	—	—	—	—
人(笑顔)	*3	*3	—	—	—
人(寝顔)	*2	*3	—	—	—
赤ちゃん	*3	*3	—	—	—
赤ちゃん(笑顔)	*3	*3	—	—	—
赤ちゃん(寝顔)	*2	*3	—	—	—
こども(動いているとき)	*3	*3	—	—	—
人以外	*2	*3			
人以外(動いているとき)	*3	*3	—	—	—
人以外(近いとき)	*2	*3	—	—	

*1 三脚使用時

*2 アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、背景が暗いときは紺色、その他のときは灰色になります。

*3 アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、その他のときは灰色になります。

- [] [] [] [] の背景は紺色、 の背景はオレンジ色です。
- 動画撮影中、「人」「人以外」「人以外(近いとき)」以外のアイコンは表示されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



- [FUNC] モードで撮影中は、「人」「人（顔の一部が暗いとき）」「人以外」「人以外（近いとき）」以外のアイコンは表示されません。
- セルフタイマー撮影時、「人（動いているとき）」「人（笑顔）」「人（寝顔）」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」「人以外（動いているとき）」のアイコンは、表示されません。
- ドライブモードを [A] 以外に設定しているとき (40、45) は、「人（笑顔）」「人（寝顔）」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」のアイコンは、表示されません。
- ストロボを [A] に設定しているとき、逆光での「人（笑顔）」「こども（動いているとき）」は表示されません。
- 「赤ちゃん」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」のアイコンは、[個人認証] を [入] にして、登録されている赤ちゃん（2歳未満）、こども（2歳以上12歳以下）の顔が検出されたときに表示されます (46)。なお、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください (17)。



- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、[P] モード (60) で撮影することをおすすめします。

連続撮影されるシーン

次のシーンのアイコンが表示されているときに静止画を撮影すると、連続撮影されます。次のシーンのアイコンが表示されているときにシャッターリングを半押しすると、連続撮影することを知らせる [A] [A] [A] のいずれかが表示されます。

笑顔 (赤ちゃんを含む)	連続撮影した画像の中から、顔の表情などを検出して、カメラが最適と判断した1枚だけを保存します。
寝顔 (赤ちゃんを含む)	連続撮影した画像を合成することで、手ブレやノイズを軽減して寝顔をきれいに撮影できます。AF補助光、ストロボは光りません。また、シャッター音は鳴りません。
こども	動き回るこどもでもシャッターチャンスを逃さずに撮影できるように、1回の撮影で3枚の画像を連続撮影して保存します。



- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- ピント、明るさ、色あいは、1枚目の撮影で固定されます。



- [FUNC] をタッチして、メニュー項目の [A] を選んだあと [A] を選ぶと、連続撮影されなくなります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



手ブレ補正アイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます。また、**[AUTO]** モードでは以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正（通常）
	静止画を流し撮りで撮るときの手ブレを補正（流し撮り）*
	マクロ撮影するときの手ブレを補正。また、動画撮影中は [M] が表示され、動画のマクロ撮影に適した手ブレ補正を実施（ハイブリッド IS）
	動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック）
	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワーD）
	三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、動画撮影中は [P] が表示され、風などによる振動の影響を低減するブレ補正を実施（三脚 IS）

* 動く被写体をカメラで追いつながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



- **[手ブレ補正]** を **[切]** に設定（**[P]** 63）すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
- **[AUTO]** モードでは **[M]** にはなりません。

画面に表示される枠

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] モードでは、カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターリングを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、**[P]** モード（**[P]** 60）で撮影することをおすすめします。
- ピントを合わせたい被写体を選びたいときは、画面上の被写体にタッチして **[AF]** を表示します（タッチ AF）（**[P]** 44）。シャッターリングを半押しすると、青色の AF フレームが表示され、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。
- 動画の撮影中は、タッチ AF はできません。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/スーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



よく使う機能や便利な機能を使う

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

▶ 静止画 ▶ 動画

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 32 倍まで拡大できます。



1 ズームリングを回す

- ズームできるところまでリングを矢印の方向に回したままにします。
- 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

2 もう一度同じ方向に回す

- さらにズームして、被写体が拡大されます。
- (1) は現在の倍率です。



- ズームリングを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プロGRESSIVE FINE ZOOM）
 - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- 設定した記録画素数（[M]51）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。

セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターリングを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



1 設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [Fn] を選んだあと、項目の [Fn] を選びます（[M]27）。
- 設定されると [Fn] が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

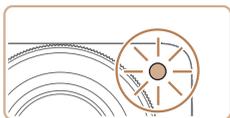
10 付録

索引



2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターリングを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターリングを全押しします。
- 動画を撮影するときは、[●] をタッチします。
- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の2秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、画面をタッチします。
- 戻すときは、手順1の操作で [戻る] を選びます。



■ セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターリングを押してから約2秒後に撮影するため、シャッターリングを押すときのカメラの手ブレを防ぐことができます。



- 「セルフタイマーを使う」の手順1 (p.42) の操作で [戻る] を選びます。
- 設定されると [戻る] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順2 (p.42) の操作で撮影します。

画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターリングを押す代わりに、画面をタッチするだけで被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。



1 タッチシャッター機能を使えるようにする

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[カメラ] タブの [タッチシャッター] を選び、[入] を選びます (p.28)。

2 撮影する

- 画面上の被写体を指で触れ、すぐに指を放します。
- シャッター音が鳴り撮影されます。
- タッチシャッターを使わないようにするときは、手順1の操作で [切] を選びます。



- 撮影した画像が表示されている状態でも、[戻る] をタッチすると、次の撮影ができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/スーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（タッチ AF）

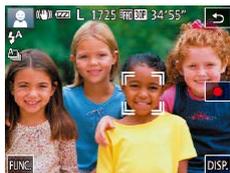
▶ 静止画 ▶ 動画

目的の人の顔や被写体を選んだり、画面上の位置を指定してピントを合わせ、撮影できます。



1 ピントを合わせたい顔、被写体または位置を選ぶ

- 画面上の人や被写体にタッチします。



- 被写体として認識すると電子音が鳴り、**[AF]** が表示されます（動いていてもピントを合わせ続けます）。
- 解除するときは、**[AF]** をタッチします。



2 撮影する

- シャッターリングを半押しすると、**[AF]** が青色の **[AF]** に変わり、被写体を追いつけながら、ピントと露出を合わせ続けます（サーボ AF）。
- シャッターリングを全押しして撮影します。



- タッチすると撮影されるときは、**[FUNC.]**、**[MENU]** の順にタッチして **[カメラ]** タブの **[タッチシャッター]** を **[切]** にします（**[28]**）。
- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- **[個人認証]** を **[入]** にして、登録されている人の顔が検出されたときは、名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます（**[45]**）。ただし、被写体として指定した人が検出された人のときは名前が表示されます。

ストロボを光らせない

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボを光らせないで撮影することができます。



- **[FUNC.]** をタッチして、メニュー項目の **[閃光]** を選び、**[閃光オフ]** を選びます（**[27]**）。
- 設定されると **[閃光]** が表示されます。
- ストロボが光らなくなります。
- 戻すときは、上記の操作で **[閃光]** を選びます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターリングを半押しすると、画面に **[点滅]** が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラストモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターリングを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。連続撮影の速度は「連続撮影の速さ」(P137)を参照してください。



1 設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [A] を選んだあと、項目の [C] を選びます (P27)。
- 設定されると [C] が表示されます。

2 撮影する

- シャッターリングを全押ししている間、連続撮影されます。



- セルフタイマー (P42) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- タッチシャッター機能 (P43) では、画面に触れている間、連続撮影されます。連続撮影中は 1 枚目のピント位置と露出で固定されます。

個人認証機能を使って撮る

カメラに登録した人の顔を検出して、他の人よりも優先的なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。[AUTO] モードでは、登録した誕生日から赤ちゃんや子どもを判別し、最適な設定で撮影することができます。また、撮影した多くの画像の中から登録した人の画像を検索するとき (P69) にも便利です。

個人情報について

- 個人認証機能で登録した顔の画像 (顔情報) や、設定した個人情報 (名前、誕生日) は、カメラに記録されます。また、撮影した静止画には、検出された人の名前が記録されます。そのため個人認証機能を設定したあとは、カメラや撮影した静止画を他人に渡したり、撮影した静止画をインターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除 (P50) してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



人物情報を登録する

カメラに登録する人の人物情報（顔情報、名前、誕生日）を、最大 12 人まで登録することができます。



1 設定画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[📷] タブの [個人認証設定] を選び、タッチします (📖28)。
- [登録] をタッチします。
- [新しい人物情報を登録] をタッチします。



2 顔情報を登録する

- 登録したい人の顔を、画面中央に表示される灰色の枠の中に収めます。
- 顔として認識されると枠が白くなりますので、この状態になったことを確認して撮影します。
- 顔として認識されないときは、登録できません。
- [登録しますか?] が表示されたら [OK] をタッチします。
- [プロフィール編集] 画面が表示されます。

3 名前と誕生日を登録する

- 名前の入力欄をタッチしてキーボードを表示し、名前を入力します (📖29)。
- 誕生日を登録するときは、[プロフィール編集] 画面で誕生日の入力欄をタッチします。
- 設定する項目をタッチして選びます。
- [▲] か [▼] をタッチして設定します。
- すべての項目を設定したら、[↩] をタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





4 登録する

- [保存] をタッチします。
- メッセージが表示されたら、[はい] をタッチします。

5 続けて顔情報を登録する

- 手順 2 の操作を繰り返して、残り 4 つの顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 手順 2 の操作で撮影したときは、ストロボは光りません。
- 手順 3 で誕生日を登録しないと、[AUTO] モードのときに赤ちゃんや子どものアイコンは表示されません (P.39)。



- 登録されている顔情報を入れ換えたり、5 つの顔情報を登録していないときは、あとで追加することができます (P.46)。

撮る

カメラに登録した人の顔を優先的に主被写体と判断して、最適なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。



- カメラを人に向けると、検出された人の名前が最大 3 人まで画面に表示されます。
- 撮影します。
- 表示された人の名前が、静止画に記録されず。さらに画面に表示されていない人でも、検出されると名前が記録されます (合計 5 人まで)。



- 登録した顔と特徴が似ている顔を、誤って検出することがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 登録したときの顔情報と撮影したときの顔や撮影シーンが大きく違うときは、正しく検出されないことがあります。
- 登録した顔が検出されないときや、検出されにくいときは、登録されている顔情報を入れ換えてください。撮影する直前に顔情報を登録すると検出されやすくなります。
- 誤って検出されたまま撮影したときは、再生時に名前を入れ換えて消したりすることができます (P.71)。
- 赤ちゃんや子どもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします (P.46)。
- 情報表示なし (P.26) にすると、名前は表示されませんが、撮影される画像には名前が記録されます。
- 記録される静止画に名前を記録したくないときは、[カメラ] タブの [個人認証設定] の [個人認証] を [切] にします。
- 記録された名前は、再生画面 (簡易情報表示) で確認することができます (P.66)。
- [カメラ] モードでは、名前は撮影画面に表示されませんが、静止画には記録されます。
- 連続撮影 (P.45) すると、名前は 1 枚目に記録された位置に固定されます。被写体が動いても、2 枚目以降も 1 枚目と同じ位置に記録されます。

登録した情報を確認／編集する



1 [情報確認 / 編集] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順 1 (P.46) の操作で [情報確認 / 編集] をタッチします。



2 確認／編集する人を選ぶ

- 確認／編集したい人を選び、タッチします。

3 確認／編集する

- 名前や誕生日を確認するときは、[プロフィール編集] をタッチします。表示された画面では、「人物情報を登録する」の手順 3 (P.46) の操作で名前や誕生日を変えることもできます。
- [顔情報の一覧] をタッチして顔情報を確認します。顔情報を消すときは、表示された画面で [消去] をタッチしたあと、消す顔情報をタッチします。[消去しますか?] が表示されたら、[OK] をタッチします。



- [プロフィール編集] で名前を変えても、変更前に撮影された静止画に記録されている名前には反映されません。



- 登録した名前は、ソフトウェア (P.116) を使って編集することもできます。なお、ソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがありますが、画像には正しく記録されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



■ 顔情報を入れ換え／追加する

新しい顔情報に入れ換えることができます。顔が検出されにくいときや、特に赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします。また、顔情報を5つ登録していないときは、追加で顔情報を登録します。



1 [顔情報の追加登録] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (📖46) の操作で [顔情報の追加登録] をタッチします。

2 入れ換える人の名前を選ぶ

- 入れ換える人の名前をタッチします。
- 5つの顔情報が登録されているときは、メッセージが表示されるので、[OK] をタッチします。
- 登録されている顔情報が4つ以下のときは、手順4に進んで顔情報を追加します。

3 入れ換えたい顔情報を選ぶ

- 入れ換えたい顔情報をタッチします。



4 顔情報を登録する

- 「人物情報を登録する」の手順2 (📖46) の操作で撮影し、新しい顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 顔情報が5つ登録されているときは、追加はできません。上記の操作で顔情報を入れ換えてください。
- 登録している顔情報が4つ以下のときは、上記の操作であらたに顔情報を登録はできますが、入れ換えはできません。いったん顔情報を消して (📖48) から、新しい顔情報を登録 (📖46) してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



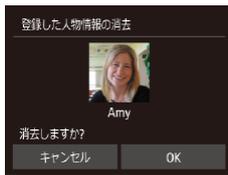
登録した情報を消す

カメラに登録した人物情報（顔情報、名前、誕生日）を消すことができます。なお、撮影した画像に記録されている名前は消えません。



1 [登録情報の消去] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1（[書46](#)）の操作で「登録情報の消去」を選びます。



2 人物情報を消す人の名前を選ぶ

- 人物情報を消す人の名前をタッチします。
- [消去しますか?] が表示されたら、[OK] をタッチします。



- 登録情報を消すと、名前の表示（[書68](#)）や、入れ換え（[書71](#)）、検索（[書69](#)）はできなくなります。



- 画像に記録された名前を消すこともできます（[書72](#)）。

自分好みの画像を撮るための機能を使う

縦横比（アスペクト比）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [4:3] を選び、設定したい項目を選びます（[書27](#)）。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で [4:3] を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	35mm フィルムと同じ縦横比です。2L判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L判、A判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- [] モードでは設定できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/スーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



記録画素数（画像の大きさ）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数を4種類から選べます。それぞれの記録画素数で1枚のカードに撮影できる枚数については「1枚のカードに撮影できる枚数(縦横比4:3のとき)」(P136)を参照してください。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [L] を選び、設定したい項目を選びます (P27)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [L] を選びます。

用紙の大きさで選ぶときの目安（縦横比 4:3 のとき）

L	A2 相当
M1	A3 ~ A5 相当
M2	2L 判、はがき、L 判相当
S	電子メールで画像を送るときなど



- [A/M] モードでは設定できません。

動画の画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

3種類の画質から選べます。それぞれの画質で1枚のカードに撮影できる時間については「1枚のカードに撮影できる時間」(P136)を参照してください。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [Full HD 30P] を選んだあと、目的の項目を選びます (P27)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [Full HD 30P] を選びます。

画質	記録画素数	フレーム数	内容
Full HD 30P	1920 x 1080 画素	30 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
HD 30P	1280 x 720 画素	30 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
VGA 30P	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。



- [Full HD 30P] [HD 30P] では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/スーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



撮影の手助けとなる機能を使う

グリッドラインを表示する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線を画面上に表示することができます。



- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[📷] タブの [グリッドライン] を選び、[入] を選びます (📖28)。
- 設定されると格子線が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。



- 「グリッドライン」は画像に記録されません。

自分好みに機能を変える

MENU の [📷] タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU (メニュー) の表示と操作方法」(📖28) を参照してください。

AF 補助光 (ランプ) を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでシャッターリングを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ (前面) が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[📷] タブの [AF 補助光] を選び、[切] を選びます (📖28)。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



撮影直後の画面表示を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影直後に画像が表示される時間を変えたり、画面の表示を変えることができます。

■ 撮影直後の画像表示時間を変える



1 【撮影直後のレビュー表示】画面を表示する

- 【FUNC.】をタッチしたあと【MENU】、 タブ、【撮影直後のレビュー表示】の順にタッチします。

2 設定する

- 【表示時間】を選んでから、設定したい項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で【クイック】を選びます。

クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2秒、4秒、8秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターリングを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターリングを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

■ 撮影直後に表示される画面を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。



1 【表示時間】を【2秒】、【4秒】、【8秒】または【ホールド】にする (📖53)

2 設定する

- 【表示情報】を選んでから、設定したい項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で【非表示】を選びます。

非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示 (📖130) になります。



- 【表示時間】 (📖35) で【クイック】または【切】を選んでいるときは、【非表示】に固定されます。
- 撮影直後に画像が表示されているときは、画面をタッチしてから【FUNC.】をタッチすると以下の操作を行えます。
 - お気に入り (📖77)
 - 消去 (📖74)

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラススーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



4

いろいろな撮影モード

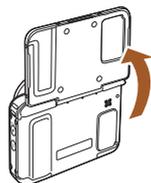
いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮り）

▶ 静止画 ▶ 動画

自分撮りをするときの明るさや肌がなめらかに見える美肌効果を自分好みに設定にしたり、背景がぼけるように画像処理することで、自分が浮き立つような画像にすることができます。



1 モニターを開く

- 図のようにモニターを開きます。

2 [ic] を選ぶ

- [ic] をタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

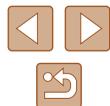
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





3 設定する

- 設定する内容に応じて画面に表示されたアイコンをタッチします。
- 内容が表示されていない項目では、項目をタッチすると設定画面が表示されます。
- 目的の内容を選びます。
- [↶] をタッチすると、もとの画面に戻ります。



4 撮影する

- シャッターリングを全押しすると、2枚連続して撮影されたあと、画像処理されるため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。

項目	設定できる項目	内容
	—	明るさを5段階から、美肌の効果を3段階から選ぶことができます。なお、美肌の効果は主被写体と判断された人の顔が最適になるようにかかります。
		背景をぼかす効果をつけないときは、[森] を選ぶと、一回の撮影で1枚のみ撮影するようになります。
		ストロボを常に発光させて撮影したいときは、[閃] を選びます。
		セルフタイマーを設定できます。[c10] を選ぶと、撮影までの秒数が画面に表示されます。
		タッチシャッターを使わないときは、[閉] を選びます。



- モードスイッチを [V] (P.32) にしているときや [c] モード (P.54) では、[c] は表示されません。
- [c] をタッチして [c] モードにしたときは、液晶モニターを閉じたり、約 180° 以下の角度にすると、もとのモードに戻ります。
- プレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 「被写体に近づく」「被写体と背景の距離を離す」とぼかし効果が得られやすくなります。
- 撮影後の処理により、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順 1～2 (P35) の操作で [📷] モードを選ぶこともできます。
- ストロボモードを [📷] にしているときは、背景ぼかしは [📷] に固定されます。

暗い場所で撮る（ローライト）

▶ 静止画 ▶ 動画

暗い場所でも手ブレや被写体ブレをおさえて撮影できます。



1 [📷] を選ぶ

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順 1～2 (P35) の操作で [📷] を選びます。

2 撮影する



- [📷] モードでは、記録画素数は [📷] に固定されます (P51)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



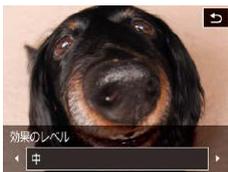
魚眼レンズのような効果をつけて撮る (魚眼風)

▶ 静止画 ▶ 動画

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [魚] を選ぶ

- 「オートモードで撮る(こだわりオート)」の手順1~2(📖35)の操作で[魚]を選びます。



2 効果を選ぶ

- [魚]をタッチしたあと、[◀]か[▶]をタッチして効果のレベルを選び、[↵]をタッチします。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

ミニチュア模型のように撮る(ジオラマ風)

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [魚] を選ぶ

- 「オートモードで撮る(こだわりオート)」の手順1~2(📖35)の操作で[魚]を選びます。
- 画面に白い枠(ぼかさな範囲)が表示されます。

2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- ピント位置を変えるときは、画面をタッチするか、白い枠を上下方向にドラッグします。
- ピントの範囲を変えるときは、[M]をタッチして、[S] [M] [C]のいずれかをタッチして選び、[↵]をタッチします。

3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- [10x]をタッチして、[5x] [10x] [20x]のいずれかをタッチして倍速(速さ)を選び、[↵]をタッチします。

4 撮影する



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスタモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



■ 倍速と再生時間の目安（動画を1分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約12秒
10x	約6秒
20x	約3秒



- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順2の画面で [C] をタッチすると枠が縦になり、画面をタッチして位置を変えられます。もう一度 [C] をタッチすると枠が横に戻ります。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で [4:3] を選んだときは [EVGA] に、[16:9] を選んだときは [HD] に固定されます (P.50)。

トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [C] を選ぶ

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順1～2 (P.35) の操作で [C] を選びます。

2 色調を選ぶ

- [E] をタッチしたあと、[◀]か[▶]をタッチして色調を選び、[↵] をタッチします。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する



標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



優しい雰囲気撮る (ソフトフォーカス)

▶ 静止画 ▶ 動画

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 [人] を選ぶ

- 「オートモードで撮る (こだわりオート)」の手順 1 ~ 2 (📖35) の操作で [人] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [☑] をタッチしたあと、[◀] か [▶] をタッチして効果のレベルを選び、[↵] をタッチします。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

単色で撮る (モノクロ)

▶ 静止画 ▶ 動画

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

- 「オートモードで撮る (こだわりオート)」の手順 1 ~ 2 (📖35) の操作で [📷] を選びます。

2 色調を選ぶ

- [☑] をタッチしたあと、[◀] か [▶] をタッチして色調を選び、[↵] をタッチします。
- 設定した色調で画面が表示されます。



3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスリーブーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



5

Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る

- **[P]** モードになっていることを前提に説明しています。
- **[P]** は、Program AE (プログラムエーイー) の略、AEは、Auto Exposure (オートエクスポージャー) の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を **[P]** モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください (📖131)。

プログラム AE で撮る ([P] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- 「オートモードで撮る (こだわりオート)」の手順 1 ~ 2 (📖35) の操作で **[P]** を選びます。

2 目的に応じて各機能を設定 (📖61 ~ 📖64) し、撮影する



- シャッターリングを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO 感度を変えたり (📖62)、被写体が暗いときにストロボを発光させる (📖63) と、適正露出が得られることがあります。
- **[P]** モードでも、**[●]** をタッチすると動画が撮影できます。ただし、FUNC. (📖27) や MENU (📖28) の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



明るさ（露出）に関する機能を使う

明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [±0] を選び、画面の表示を見ながら明るさを補正します (📖27)。
- 設定した補正量が表示されます。

測光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [] を選び、設定したい項目を選びます (📖27)。
- 設定した項目が表示されます。

評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
スポット測光	画面中央に表示される [] (スポット測光枠) の範囲のみを測光します。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/スーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

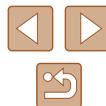
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



ISO 感度を変える

▶ 静止画 ▶ 動画



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [ISO] を選び、設定したい項目を選びます (📖 27)。
- 設定した項目が表示されます。

AUTO	撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定	
100、200	低い	晴天の屋外
400、800	やや低い	曇り空、夕方
1600、3200	やや高い	夜景、暗い室内



- ISO 感度が [ISO] のときは、シャッターリングを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなる場合があります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。

色あいを調整する (ホワイトバランス)

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス (WB) は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [WB] を選び、設定したい項目を選びます (📖 27)。
- 設定した項目が表示されます。

AWB オート	撮影シーンに応じて自動設定
☀️ 太陽光	晴天の屋外
☁️ くもり	曇り空、薄暮
💡 電球	電球
💡 蛍光灯	白色蛍光灯
💡 蛍光灯 H	屋光色蛍光灯

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



ストロボモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「ストロボ調光範囲」(P137)を参照してください。



1 設定する

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [FLASH] を選んだあと、ストロボモードを選びます (P27)。
- 設定した項目が表示されます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターリングを半押しすると、画面に [L] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画



1 設定画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[CAMERA] タブの [手ブレ補正設定] を選びタッチします (P28)。

2 設定する

- [手ブレ補正] を選んでから、目的の項目を選びます (P28)。

入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定 (マルチシーンIS) されます (P41)。
撮影時*	撮影される瞬間のみ手ブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

* 動画を撮影するときは、[入] の設定に変わります。



- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切] にすることをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/スーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



■ 撮影前の画面と同じ大きさを動画で撮影する

▶ 静止画 ▶ 動画

動画撮影では大きな手ブレも補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。この大きな手ブレの補正を行わないことで、撮影前の画面と同じ大きさを動画で撮影することができます。



- 「手ブレ補正の設定を変える」(書63)の操作で「手ブレ補正設定」画面を表示します。
- 「[ダイナミック IS]」を選んでから、[2]を選びます(書28)。



- 「手ブレ補正」が「切」のときも、撮影前の画面と同じ大きさを動画で撮影することができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラススーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

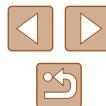
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



6

再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- [▶] ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。



- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- 画面を左方向にドラッグすると次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。



(2)

(1)

- 画面右端 (1) をタッチすると、[▶] が表示され、次の画像が表示されます。画面左端 (2) をタッチすると、[◀] が表示され、前の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] をタッチしたままにすると、画像が速く切り換わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 連続して素早くドラッグするとこの画面が表示されます（スクロール再生）。
- この状態で、左右方向にドラッグして画像を選びます。
- 中央の画像をタッチすると 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画では、[⏮] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。

3 動画を再生する

- [▶] をタッチすると再生がはじまります。



4 音量を調整する

- 上下方向に素早くドラッグして調節します。
- 音量バー (1) が消えても、素早くドラッグして調節することができます。



(1)

5 一時停止する

- 再生中に画面をタッチすると停止し、動画操作パネルが表示されます。[▶] をタッチすると再開されます。
- 再生が終わると [⏮] が表示されます。



- 音量バーをタッチすると音量パネルが表示されるので、[▲] が [▼] をタッチして調節することもできます。
- レンズが出ているときは再生モードの状態でシャッターリングを半押しすると撮影モードになります（充電時（P15）を除く）。

表示を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

画面をタッチすると画面表示が切り替わります。また、画面を長押しする（タッチしたままにする）と詳細情報を表示できます。詳細情報表示で画面をタッチすると、元の表示に戻ります。また、「詳細情報表示」の状態、画面を上下にドラッグすると「GPS 情報表示」に切り換えることができます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時（詳細情報表示）」（P130）を参照してください。

	情報表示なし
	簡易情報表示
	詳細情報表示
	GPS 情報表示

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスマービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- Wi-Fiでプリンター以外の機器と接続しているときは、表示を切り換えることはできません。

高輝度（ハイライト）警告

▶ 静止画 ▶ 動画

「詳細情報表示」(66) にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

ヒストグラム

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「詳細情報表示」(66) のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

GPS 情報表示

▶ 静止画 ▶ 動画



- カメラとスマートフォンを Wi-Fi でつなぐと、スマートフォンを操作してカメラ内の画像に GPS 情報（緯度、経度、標高など）を記録することができます(104)。
- 表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。



- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「--」が表示されます。



- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。

クリエイティブショットモードで記録した短編動画（クリエイティブショット動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[] モード (32) で記録したクリエイティブショット動画を選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして [▶] タブの [クリエイティブショット動画再生] を選びます(28)。



2 再生する

- 動画を選んでタッチすると、動画が再生されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[**📷**] モード (📖37) で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- [**📷**] モードで撮影した静止画には [FUNC.] でダイジェスト動画を再生が表示されます。



2 短編動画を再生する

- [FUNC.] をタッチしてメニュー項目の [**📷**] を選びます (📖27)。
- 静止画を撮影した日に作成された短編動画が先頭から再生されます。



- [FUNC. でダイジェスト動画を再生] の表示は一定時間で消えます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[**▶**] タブの [ダイジェスト動画の一覧/再生] を選びます (📖28)。



2 再生する

- 目的の日付をタッチすると、動画が再生されます。

個人認証機能で検出された人を確認する

▶ 静止画 ▶ 動画

簡易情報表示 (📖66) にすると、個人認証機能 (📖45) に登録している人として検出された最大5人までの名前が表示されます。



- 画面をタッチして簡易情報表示にしたあと、画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。
- 検出された人に名前が表示されます。



- 個人認証機能で撮影した画像に名前を表示させたくないときは、[FUNC.] をタッチしたあと、[MENU] をタッチして [**▶**] タブの [認証情報] から [名前表示] を選び、[切] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



画像を探したり、特定の画像だけを見る

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- 1枚表示の状態で、2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと一覧表示になります。
- 同じ動作を繰り返すたびに、表示される画像の数が増えます。



2 画像を選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。
- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げようように動かすと、表示される画像の数が減ります。
- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が1枚表示になります。



- 画面を上下方向にドラッグすると、奥行きのある表示になりますが、[FUNC.] をタッチしたあと、[MENU] をタッチして [] タブの [一覧表示の効果] を [切] にすると、この効果をつけずに表示することができます。

ズームリングで操作する



- ズームリングを図の方向に回すと一覧表示になり、さらに回すと表示される画像の数が増えます。
- ズームリングを図と逆の方向に回すたびに、表示される画像の数が減ります。

指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。

名前	登録した人の画像 (46) を表示
人物	顔が検出された画像を表示
日付	指定した撮影日の画像を表示
お気に入り	お気に入り設定した画像 (77) を表示
静止画 / 動画	静止画、動画、[] モード (37) で作成された動画のいずれかを表示

1 検索条件を選ぶ

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [] を選び、目的の条件を選びます (27) 。
- [] [] [] を選んだときは、表示された画面で条件を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



2 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、画面を左右方向にドラッグすると検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、手順 1 の操作で **[🔍]** を選びます。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。



- 検索した画像を表示しているとき (手順 3) は、「一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す」(🔍69)、「拡大して見る」(🔍72)、「スライドショーで見る」(🔍73) などの操作で画像を見ることができます。また、「まとめて消す」(🔍74)、「フォトブック指定」(🔍121) で「検索したすべての画像を指定」を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存 (🔍79) などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

グループ化された画像を 1 枚ずつ見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[🔍] モード (🔍32) で撮影された画像はグループ化されて表示されますが、グループ内の画像を 1 枚ずつ見ることもできます。



1 グループ化された画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグしてグループ化された画像を選びます。
- グループ化された画像は、図のように画像が重なっている表示になります。

2 グループ内の画像を 1 枚ずつ見る

- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が 1 枚表示になります。
- 1 枚表示で画面を左右方向にドラッグするとグループ内のほかの画像が表示されます。
- **[🔍]** をタッチするとグループ再生が解除されます。



- グループ化された画像を消す (🔍74) と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。
- 画像の上下部分をタッチすると、情報表示が切り換わります。
- 画像をタッチしたままにすると、詳細情報表示になります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- グループ再生の状態(手順2)で[FUNC.]をタッチすると表示されるメニューの機能を使ったり、「一覧表示(インデックス表示)で画像を探す」(P69)、「拡大して見る」(P72)こともできます。また、「まとめて消す」(P74)、「フォトブック指定」(P121)で「グループ内の全画像」を指定すると、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。
- []モードで「写真の楽しさを知る」の手順2(P32)のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

個人認証情報を編集する

再生時に画面に表示された名前が誤っているときは、正しい名前に入れ換えたり、消したりすることもできます。

ただし、検出されず名前が表示されなかった人や名前を消した人に、あとから名前を付けることはできません。

名前を入れ換える



1 設定画面を表示する

- [FUNC.]をタッチしたあと[MENU]をタッチして、[]タブの「認証情報」を選び、タッチします(P28)。
- 「認証情報の編集」をタッチします。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[OK]をタッチします。
- 名前を入れ換えたい顔をタッチして選ぶことができます。



3 編集内容を選ぶ

- 「入れ換え」をタッチします。

4 入れ換える人の名前を選ぶ

- 入れ換える人の名前をタッチします。



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



名前を消す

- 「名前を入れ換える」の手順 3 (P71) で表示された画面で「消去」をタッチします。
- 「消去しますか?」が表示されたら、[OK] をタッチします。

いろいろな方法で画像を見る

拡大して見る

▶ 静止画 ▶ 動画



(1)



1 拡大する

- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと拡大表示になります。
- 同じ動作を繰り返すと、最大約10倍まで画像を拡大できます。
- 画面には表示位置の目安(1)が表示されます。
- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと、縮小表示になります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- 画面をドラッグすると、表示位置が移動します。
- [戻る] をタッチすると1枚表示に戻ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラストモード/スーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



素早く2回タッチして拡大する



- 画面を素早く2回タッチすると約3倍に拡大することができます。
- 拡大表示されているときに素早く2回タッチすると、1枚表示に戻ります。

ズームリングで操作する



- ズームリングを図の方向に回すことでも拡大表示でき、回したままにすると最大10倍まで拡大できます。
- ズームリングを図と逆の方向に回すと縮小表示になり、回したままにすると1枚表示に戻ります。

スライドショーで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。画像1枚あたりの表示時間は約3秒です。

スライドショーをはじめめる



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [] を選びます (27)。
- [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- 画面をタッチすると終わります。



- スライドショーは繰り返して表示されます。
- スライドショー中に節電機能 (24) は動きません。



- 検索 (69) しているときは、対象の画像のみが再生されません。
- タッチアクションでスライドショーをはじめめることもできます (78)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

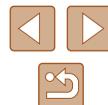
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



消す

▶ 静止画 ▶ 動画

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せない
ので十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。



2 消す

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [🗑️] を選びます (📖27)。
- [消去しますか?] が表示されたら、[消去] をタッチします。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[キャンセル] をタッチします。



- タッチアクションで消すこともできます (📖78)。

まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せない
ので十分に確認してから消してください。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[🗑️] タブの [消去] を選びます (📖28)。

2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます (📖28)。
- [↩️] をタッチするとメニュー画面に戻ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/ブラス
ターオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

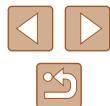
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



■ 1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖74)の操作で「画像指定」をタッチします。



2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、画面をタッチすると [✓] が表示されます。
- もう一度画面をタッチすると解除され、[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [OK] をタッチすると確認画面が表示されます。

3 消す

- [OK] をタッチします。



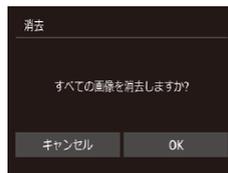
■ すべての画像を指定する

1 「すべての画像を指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖74)の操作で「すべての画像を指定」をタッチします。

2 消す

- [OK] をタッチします。



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

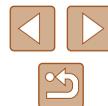
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



回転する

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [FUNC.] を選ぶ

- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [FUNC.] を選びます (27)。



2 回転する

- [↶] か [↷] をタッチすると指定した方向に90度単位で回転し、[↵] をタッチすると設定されます。



- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (76)。



- 手順2の画面は [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[▶] タブの [回転] を選ぶことでも表示できます (28)。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[▶] タブの [縦横自動回転] を選び、項目の [切] を選びます (28)。



- [切] にすると、画像の回転 (76) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

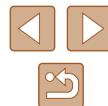
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引

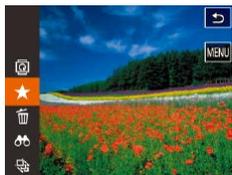


お気に入り設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画

お気に入りを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 「見る」(📖65)、「スライドショーで見る」(📖73)、「消す」(📖74)、「フォトブック指定」(📖121)



- [FUNC.] をタッチして、メニュー項目の [★] を選びます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度 [★] を選びます。

メニューから操作する



1 【お気に入り】を選ぶ

- [FUNC.]、[MENU] の順にタッチして、[📺] タブの 【お気に入り】 を選びます (📖28)。



2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、画面をタッチすると [✓] が表示されます。
- もう一度画面をタッチすると [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- [OK] をタッチすると確認画面が表示されます。



3 設定する

- [OK] をタッチします。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。



- Windows 8、Windows 7をお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が3 (★★★★☆☆) に設定されます (動画を除く)。
- タッチアクションでお気に入りを設定することもできます (📖78)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

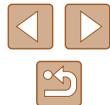
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



タッチアクションでかんたんに操作する

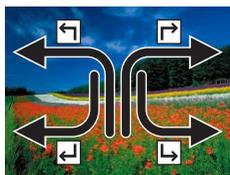
▶ 静止画 ▶ 動画

1 枚表示のとき、特定の4方向に画面をドラッグすると、それぞれの方向に登録してある機能を素早く、かんたんに呼び出すことができます。

タッチアクションの機能を使う



- 画面を図のようにドラッグします。
- [←] に登録されている機能が呼び出されます。



- [↑] [↓] [←] [→] に登録されている機能も同じように画面をドラッグして呼び出すことができます。
- タッチアクションに登録されている機能は変えられます。

タッチアクションの機能を変える

それぞれの方向のドラッグ操作に登録されている機能を変えて使いやすくなることができます。

1 設定画面を表示する

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[] タブの [タッチアクション設定] を選びます (28)。



2 タッチアクションに機能を登録する

- 画面を上下方向にドラッグして、タッチアクションの方向を選びます。
- [◀] か [▶] をタッチして、タッチアクションに登録する機能を選びます。

登録できる機能

お気に入り	画像をお気に入りに設定したり、解除したりします。
次のお気に入り画像	次のお気に入り設定された画像を表示します。
前のお気に入り画像	前のお気に入り設定された画像を表示します。
次の日の画像	次の日に撮影した最初の画像を表示します。
前日の画像	前日に撮影した最初の画像を表示します。
カメラに接続	Wi-Fi 接続の画面を表示します。 Wi-Fi 機能については、「Wi-Fi 機能」(82) を参照してください。
スマートフォンに接続	
パソコンに接続	
プリンターに接続	
Web サービスに接続	
スライドショー	スライドショーを開始します。
消去	画像を消去します。
回転	画像を回転します。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

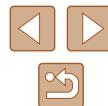
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



静止画を編集する



- 静止画の編集機能 (79) は、カードに空き容量がないと使えません。

赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして、[] タブの [赤目補正] を選びます (28)。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[OK] をタッチします。

3 補正する

- [OK] をタッチします。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」 (72) の操作で画像を拡大／縮小できます。



4 新規保存する

- [新規保存] をタッチします。
- 別画像として保存されます。

5 画像を確認する

- [] をタッチすると [保存した画像を表示します] が表示されます。
- [はい] をタッチします。
- 保存した画像が表示されます。



- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

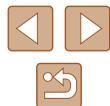
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した動画の前後を削除できます。



1 編集範囲を指定する

- 動画再生中に画面をタッチして動画操作パネルを表示します。
- [◀]、[▶]、スクロールバーをタッチして基準になるフレームを表示します。
- 編集できるところで [9<] が [9=] に変わります。



2 [9=] または [9<] をタッチする

- [表示シーンを基準に削除します] が表示されます。
- [9<] が表示されているときにタッチしても、[前部を削除] では1つ左側の [9=] 位置よりも前部、[後部を削除] では1つ右側の [9=] 位置よりも後部が削除されます。

3 削除する範囲を選ぶ

- [前部を削除] または [後部を削除] をタッチします。
- [前部を削除] では、表示しているシーンより前の部分が削除されます。
- [後部を削除] では、表示しているシーンより後ろの部分が削除されます。

4 編集した動画を保存する

- [新規保存] をタッチします。
- [圧縮せず新規保存] をタッチします。
- 別動画として保存されます。
- キャンセルするときは [中止] をタッチします。
- 編集範囲を指定しなおすときは [↶] をタッチします。



- 手順4で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット (別売) (R1114) を使うことをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

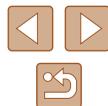
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



ファイルサイズを小さくする

動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。



- 「動画を編集する」の手順4の画面で「新規保存」をタッチしたあと、「圧縮して新規保存」をタッチします。



- 圧縮した動画は、[4K HD 60P] で保存されます。
- [4K VGA 30P] の動画は、圧縮できません。
- 編集した動画を保存するときに「上書き保存」を選ぶと、圧縮できません。

短編動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

[📁] モードや [📖] モードで作成されたチャプター (📖33、📖37) を1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 チャプターを選ぶ

- 「クリエイティブショットモードで記録した短編動画(クリエイティブショット動画)を見る」の手順1～2(📖67)の操作または「静止画を撮影したときに作成された短編動画(ダイジェスト動画)を見る」の手順1～2(📖68)の操作で短編動画を再生し、画面をタッチして動画操作パネルを表示します。
- [⏪] か [⏩] をタッチしてチャプターを選びます。

2 [📖] を選ぶ

- 選んだチャプターが繰り返し再生されます。



3 確認して消す

- [OK] をタッチします。
- チャプターが消去され、上書き保存されます。



- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [📖] は表示されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブルースタービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



7

Wi-Fi 機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する

Wi-Fi でできること

このカメラは、以下の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。

- スマートフォン、タブレット端末
Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、スマートフォンやタブレット端末を使ってリモート撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することができます。なお、以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。
- パソコン
カメラとパソコンを Wi-Fi で接続し、ソフトウェアを使ってカメラの画像を取り込むことができます。
- Web サービス
キャノンのオンラインフォトサービス CANON iMAGE GATEWAY や、いろいろな Web サービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信できます。また、カメラ内の未転送画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに自動で送ることもできます。
- プリンター
Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応したプリンターに画像を送って印刷できます。
- 別のカメラ
キャノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送信できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

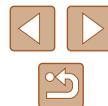
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



スマートフォンに画像を送る

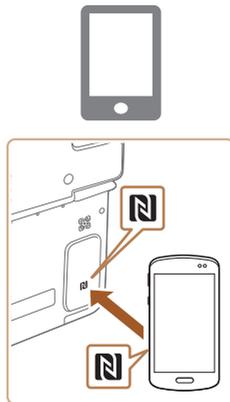
カメラとスマートフォンを接続して画像を送るには次の2つの方法があります。

-  ボタンに登録して接続する (83)
 ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続することができます。スマートフォンから画像取り込みの操作 (83) をするときにおすすめです。なお、 ボタンに登録できるスマートフォンは1台です。
- Wi-Fi メニューを使って接続する (85)
パソコンなどほかの接続先と同様の操作で接続できます。また、複数のスマートフォンに登録できます。

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「CameraWindow」(無料) をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細 (対応するスマートフォンや機能など) については、弊社 Web サイトで確認してください。

ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る

 ボタンを押してスマートフォンと接続すると、次回からは  ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続して、カメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (87)。



1 CameraWindow をインストールする

- Android (OS バージョン 4.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を有効にしたスマートフォンの  (N マーク) と、カメラの液晶モニターを開いたところにある  (N マーク) をタッチすると、スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。CameraWindow のダウンロード画面が表示されたら、ダウンロードしてインストールします。
- その他の Android のスマートフォンでは、Google Play から CameraWindow を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から CameraWindow を検索してダウンロードし、インストールします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

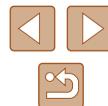
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

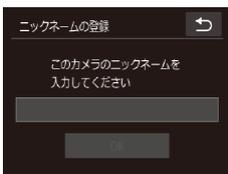
索引





2 ボタンを押す

- ボタンを押します。



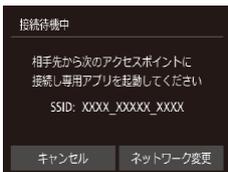
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、入力欄をタッチして表示されたキーボード (29) でニックネームを入力したあと、[ニックネームの登録] 画面で [OK] をタッチします。

3 を選ぶ

- をタッチします。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。



4 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。



5 CameraWindow を起動する

- Android (OS バージョン 4.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を有効にしてスマートフォンとカメラの (N) (N マーク) 同士をタッチすると、スマートフォンで CameraWindow が自動的に起動します。
- そのほかのスマートフォンでは、スマートフォンを操作して CameraWindow を起動します。
- カメラがスマートフォンを認識すると、スマートフォンを選択する画面がカメラに表示されます。



6 接続するスマートフォンを選ぶ

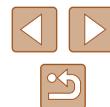
- スマートフォンの名前をタッチします。
- スマートフォンが接続され、カメラの画面にスマートフォンの名前が表示されます (約 1 分後に画面は消えます)。

7 画像を取り込む

- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。
- スマートフォンを操作して接続を切断すると、カメラの電源は自動的に切れます。



お使いになる前に
基本編
活用編
1 カメラを知る
2 クリエイティブショットモード
3 オートモード/プラスモード/スーパーオートモード
4 いろいろな撮影モード
5 Pモード
6 再生モード
7 Wi-Fi機能
8 設定メニュー
9 アクセサリー
10 付録
索引





- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
 - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
 - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあるので、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。
 - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。[OK] をタッチしてから入力しなおしてください。
- MENU (87) で [設定] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、[パスワード] を [入] にすると、手順 3 の画面に [パスワード] が表示されるようになり、セキュリティを強化できます。このときは、手順 4 でスマートフォンを操作するときに、カメラに表示されたパスワードをパスワード欄に入力してください。
- [設定] ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台です。ほかのスマートフォンを [設定] ボタンに登録するときは、MENU (87) の [設定] タブの [ワンタッチスマホボタン設定] で登録済みのスマートフォンを解除してから登録してください。
- NFC に対応したスマートフォンでも NFC ができないものがあります。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。

Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (87)。



1 CameraWindow をインストールする

- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(83) の手順 1 の操作で CameraWindow をスマートフォンにインストールします。

2 Wi-Fi メニューを表示する

- [電源] ボタンを押して電源を入れます。
- [Wi-Fi] をタッチします。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、ニックネームを入力します (83)。

3 [設定] を選ぶ

- [設定] をタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

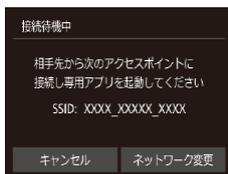
索引



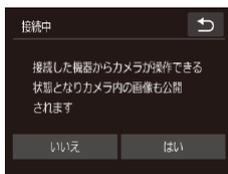


4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。
- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(1083) の手順 4～6 の操作で接続するスマートフォンを選びます。



5 公開設定する

- [はい] をタッチします。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモート撮影ができるようになります。



6 画像を送る

- 画像を左右方向にドラッグして、送りたい画像を選び、[この画像を送信] をタッチします。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、画面右上の [切断] をタッチして表示される確認画面で [OK] をタッチします。また、スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。
- 複数のスマートフォンを登録するときは、手順 1 から繰り返します。



- 手順 5 で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順 5 の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (106)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラススーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

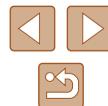
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖28) の [📶] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖100)。

ほかのアクセスポイントを使う

📱 ボタンや Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます。



1 接続待機の状態にする

- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(📖83) の手順 1～3 または「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖85) の手順 1～4 の操作で接続待機中の画面を表示します。

2 スマートフォンをアクセスポイントに接続する

3 [ネットワークの変更] を選ぶ

- [ネットワーク変更] をタッチします。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスリーブーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





4 アクセスポイントに接続してスマートフォンを選ぶ

- WPS に対応したアクセスポイントでは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(図91) の手順 5～8 の操作でアクセスポイントに接続して、スマートフォンを選びます。
- WPS に対応していないアクセスポイントでは、「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(図93) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントに接続して、スマートフォンを選びます。

5 公開設定して画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(図85) の手順 5～6 の操作で公開設定して、画像を送ります。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(図83) の手順 3 や、「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(図85) の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選び、表示された画面で [カメラアクセスポイントモード] を選びます。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って接続するときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(図87) の手順 5 から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選んだあと、「ほかのアクセスポイントを使う」(図87) の手順 4 から操作してください。

パソコンに画像を取り込む

パソコンを登録するための準備をする

■ パソコンの環境を確認する

カメラと Wi-Fi 接続できるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。

- Windows 8/8.1
- Windows 7 SP1
- Mac OS X 10.9
- Mac OS X 10.8.2 以降



- Windows 7 Starter / Home Basic には対応していません。
- Windows 7 N (欧州版) / KN (韓国版) では、Windows Media Feature Pack を別途マイクロソフトのサポートページからダウンロードしてインストールする必要があります。詳しくは、次の Web サイトで確認してください。
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=159730>

■ インストールする

ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。

用意するもの

- パソコン
- USB ケーブル (カメラ側端子は Mini-B) *

* ケーブルを使わなくてもソフトウェアをインストールできますが、一部の機能は追加されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



1 ソフトウェアをダウンロードする

- パソコンからインターネットへ接続し、「<http://cweb.canon.jp/e-support/software/index.html>」に接続します。
- ソフトウェアをダウンロードします。



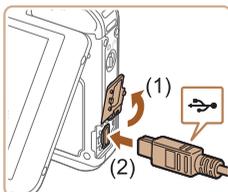
2 インストールする

- [おまかせインストール] をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。

3 カメラの接続をうながすメッセージが表示されたら、接続する／しないを選ぶ

カメラをパソコンとつなぐとき

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。



- USB ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。
- カメラの電源を入れて、表示される画面にしたがって必要な操作を行い、インストールを進めます。



カメラをパソコンとつながないとき

- [カメラを接続せずにインストール] をチェックして、表示される画面にしたがって必要な操作を行い、インストールを進めます。

4 インストールする

- お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面の [完了] または [再起動] をクリックします。
- カメラをパソコンとつないでインストールしたときは、カメラの電源を切ってからケーブルを抜きます。



- カメラによってソフトウェアの機能や内容が異なるため、カメラを複数お持ちのときは、それぞれのカメラを使って、ソフトウェアを最新バージョンに更新してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



■ Wi-Fi 接続するための設定をする (Windows のみ)

お使いのパソコンが Windows のときは、カメラと Wi-Fi で接続するために、次の手順で Windows の設定を行ってください。



1 パソコンがアクセスポイントに接続していることを確認する

- 確認方法はパソコンの使用説明書を参照してください。

2 設定する

- [スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [Wi-Fi 接続のための設定] の順にクリックします。
- 起動したアプリケーションの画面にしたがって、設定してください。



- 手順 2 のアプリケーションを実行すると、Windows に次の設定が行われます。
 - メディアストリーミングを有効にする
Wi-Fi で接続するパソコンをカメラが参照 (検索) できるようになります。
 - ネットワーク探索を有効にする
パソコンがカメラを参照 (検索) できるようになります。
 - ICMP (Internet Control Message Protocol) を有効にする
ネットワーク接続の通信状態を確認できるようになります。
 - UPnP (Universal Plug & Play) を有効にする
ネットワーク機器を自動認識できるようになります。
- パソコンにインストールされているセキュリティソフトによっては、上記の操作を行っても設定できないことがあります。セキュリティソフトの設定を確認してください。

カメラとパソコンと接続して画像を取り込む

既存のアクセスポイントにカメラを Wi-Fi 接続します。
お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせて参照してください。

■ アクセスポイントを確認する

アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機 (Wi-Fi ルーターなど) は、「Wi-Fi」(📖135) に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。

アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応しているとき (📖91) と対応していないとき (📖93) で、接続方法は異なります。また、WPS に対応していないアクセスポイントでは、次の項目を確認してください。

- ネットワーク名 (SSID/ESSID)
お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。
- ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード)
無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK (AES)」 「WPA2-PSK (TKIP)」 「WPA-PSK (AES)」 「WPA-PSK (TKIP)」 「WEP (オープンシステム認証)」 「なし」 のいずれであるかを確認してください。
- パスワード (暗号化キー / ネットワークキー)
無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー (鍵) です。「暗号化キー」や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。
- キーのインデックス (送信キー)
「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。「1」にしてください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティ上大変重要なものです。お取り扱いには十分ご注意ください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかや、設定の確認方法は、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク (LAN) を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、MENU (P28) の [↑↑] タブにある [Wi-Fi 設定] の [MAC アドレスの確認] を選ぶと確認できます。

■ WPS に対応したアクセスポイントを使う

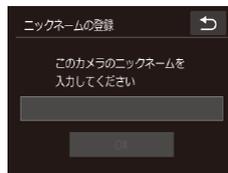
WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定をかんたんに行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。

1 パソコンがアクセスポイントに接続されていることを確認する

- 確認方法はそれぞれの機器およびアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

2 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [(↑)] をタッチします。



- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、入力欄をタッチして表示されたキーボード (P29) でニックネームを入力したあと、[ニックネームの登録] 画面で [OK] をタッチします。

3 [▶] を選ぶ

- [▶] をタッチします。

4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。

5 [簡単設定 (WPS 接続)] を選ぶ

- [簡単設定 (WPS 接続)] をタッチします。

6 [プッシュボタン方式] を選ぶ

- [プッシュボタン方式] をタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

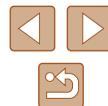
7 Wi-Fi機能

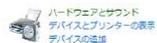
8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





7 接続をはじめめる

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押しのままにします。
- [次へ] をタッチします。
- カメラがアクセスポイントに接続し、そのアクセスポイントに接続している機器の一覧が [接続先の機器の選択] 画面に表示されます。

8 接続先の機器を選ぶ

- 接続先の機器の名前をタッチします。

9 ドライバーをインストールする (Windows の初回接続時のみ)

- カメラにこの画面が表示されたら、パソコンのスタートメニューから [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスの追加] をクリックします。
- 接続したカメラのアイコンをダブルクリックします。
- ドライバーのインストールがはじまります。
- ドライバーのインストールが終わってカメラとパソコンの接続が完了すると、[自動再生] 画面が表示されます。このとき、カメラの液晶画面には何も表示されなくなります。



10 CameraWindow を表示する

- Windows では、[画像をキヤノンカメラからダウンロードします] をクリックすると、CameraWindow が表示されます。
- Mac OS では、カメラとパソコンが Wi-Fi で通信できる状態になると、CameraWindow が自動的に表示されます。

11 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みの完了画面で、[OK] をクリックします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖28) の [🔗] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。[OK] を押してから入力しなおしてください。
- パソコンとの接続中、カメラの画面には何も表示されません。
- Mac OS で CameraWindow が表示されないときは、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- 手順 6 で [PIN コード方式] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- タッチアクション設定 (📖78) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続していきます。

📌 一覧に表示されたアクセスポイントを使う

1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖91) の手順 1～4 の操作で、ネットワーク (アクセスポイント) の一覧を表示します。



2 アクセスポイントを選ぶ

- ネットワーク (アクセスポイント) をタッチします。

3 アクセスポイントのパスワードを入力する

- 図の枠内をタッチしてキーボードを表示し、パスワードを入力します (📖29)。
- [次へ] をタッチします。

4 [自動] を選ぶ

- [自動] を選びタッチします。
- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖91) の手順 8 以降の操作で、パソコンと接続して画像を取り込みます。



- アクセスポイントのパスワードについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書を参照してください。
- アクセスポイントは最大 16 個まで表示されます。手順 2 で [更新] を選んで一覧を更新してもアクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で [手動設定] を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティ設定、パスワードの入力を行ってください。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って他の機器に接続するときは、手順 3 でパスワードが「*」で表示されます。同じパスワードを使うときは、そのまま、[次へ] をタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



■ 接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(P91) の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- そのアクセスポイントを使って接続するときは、接続先の機器がそのアクセスポイントに接続されていることを確認し、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(P91) の手順 8 から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選んだあと、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(P91) の手順 5 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(P93) の手順 2 から操作してください。

Web サービスを登録して画像を送る

利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

- CANON iMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、弊社 Web サイト (<http://www.canon.com/cig/>) で確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

■ CANON iMAGE GATEWAY を登録する

CANON iMAGE GATEWAY とカメラを連携できるようにした上で、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録します。



- 1 CANON iMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



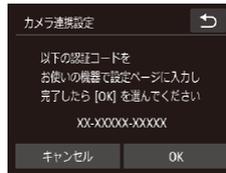
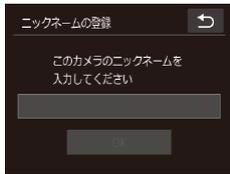
- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iMAGE GATEWAY サイト [http://www.canon.com/cig/] へアクセスします。
- ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。また、CANON iMAGE GATEWAY のアカウントをお持ちでないときは、画面の指示にしたがって会員登録（無料）を行ってください。

2 カメラのタイプを選ぶ

- このカメラは、Wi-Fi メニューに [☁] が表示される機種です。
- [☁] を選ぶと、認証コード入力画面が表示されます。この画面には、手順 3～6 でカメラを操作して表示される認証コードを入力するので、手順 7 までそのままにしておいてください。

3 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [Wi-Fi] をタッチします。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、入力欄をタッチして表示されたキーボード (P.29) でニックネームを入力したあと、[ニックネームの登録] 画面で [OK] をタッチします。



4 [☁] を選ぶ

- [☁] をタッチします。

5 [認証コード発行] を選ぶ

- [認証コード発行] をタッチします。

6 アクセスポイントへの接続をはじめめる

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(P.91) の手順 5～7 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(P.93) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。
- カメラがアクセスポイントを経由して CANON iMAGE GATEWAY に接続すると、認証コードが表示されます。
- 手順 7 が完了するまでこの画面を表示させておいてください。

7 認証コードを入力する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、カメラに表示された認証コードを入力し、次へ進みます。
- 数字 6 桁の確認番号が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

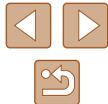
7 Wi-Fi機能

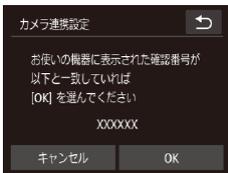
8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





8 確認番号を確認して設定を終える

- 手順 6 の二つ目の画面で [OK] をタッチすると、確認番号が表示されます。
- 画面表示された確認番号が、パソコンまたはスマートフォンに表示された確認番号と一致していることを確認します。
- [OK] をタッチします。
- パソコンまたはスマートフォンを操作して設定を終えます。

- [] (102) と CANON iMAGE GATEWAY が送信先として追加され、[] が [] になります。
- パソコンまたはスマートフォンには、完了画面が表示されます。続けて Web サービスを追加することもできます。このときは、「他の Web サービスを登録する」(96) の手順 2 から操作してください。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示されるので、画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- タッチアクション設定 (78) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

■ 他の Web サービスを登録する

CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。なお、事前に、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録する必要があります (94)。



1 Web サービスの設定画面を表示する

- 「CANON iMAGE GATEWAY を登録する」(94) の手順 1 の操作で CANON iMAGE GATEWAY にログインし、Web サービスの設定画面を表示します。



2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。



3 [] を選ぶ

- 再生モードで [] をタッチします。
- 画面を左右にドラッグして、[] をタッチします。
- Web サービスの設定が更新されます。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラススーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



Web サービスに画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [] ボタンを押して電源を入れます。
- [] をタッチします。



2 接続先を選ぶ

- 接続先のWebサービスのアイコンをタッチします。
- 同じWeb サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、[送信先の選択]画面が表示されるので、項目をタッチします。



3 画像を送る

- 画像を左右方向にドラッグして、送信したい画像を選び、[この画像を送信]をタッチします。
- YouTubeへ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み【同意する】をタッチします。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了したら表示される画面で [OK] をタッチすると、再生モードの画面に戻ります。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズの変更やコメントの追加をして送ったりすることができます (100)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブルースタービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

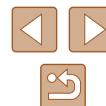
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



プリンターにつないで画像を印刷する

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。
なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(88)。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(85) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。



2 [凸] を選ぶ

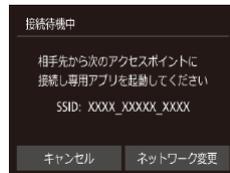
- [凸] をタッチします。

3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。



4 プリンターをネットワークに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。

5 プリンターを選ぶ

- プリンターの名前をタッチします。

6 画像を選んで印刷する

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。
- [FUNC] をタッチしたあと、[凸] を選び、タッチします。
- [印刷] をタッチします。
- 詳しい印刷方法については「印刷する」(119) を参照してください。
- 接続を切断するには、[凸] をタッチして表示された確認画面で [OK] をタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (828) の [設定] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ほかのアクセスポイントを使うときは、「ほかのアクセスポイントを使う」 (87) の手順 3 ~ 4 を参照してください。
- タッチアクション設定 (78) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続していきます。

別のカメラに画像を送る

2 台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。

- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。また、IXY DIGITAL WIRELESS とは Wi-Fi 接続できません。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」 (85) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。

2 [設定] を選ぶ

- [設定] をタッチします。

3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。
- 相手のカメラも手順 1 ~ 3 を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録がはじまります。



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラススーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





4 画像を送る

- 画像を左右方向にドラッグして、送信したい画像を選び、[この画像を送信]をタッチします。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました]と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、画面右上の [↶] をタッチして表示される確認画面で [OK] をタッチします。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📄 28) の [🔧] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖 100)。
- タッチアクション設定 (📖 78) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

画像送信について

複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。また、Web サービスによっては、コメントをつけて画像を送信することができます。

複数の画像を送信する



1 [選んで送信] を選ぶ

- 画像送信の画面で、[選んで送信] をタッチします。

2 画像を選ぶ

- 送信したい画像をタッチすると、[✓] が表示されます。
- もう一度画像をタッチすると [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[OK] をタッチします。

3 送信する

- [送信] をタッチします。



- 手順 2 でズームリングを [🔍] の方向に回すと、1 枚表示に切り換わります。画面を左右方向にドラッグして画像を選ぶこともできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブルースタービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



画像送信時の注意事項

- Wi-Fi 通信部 (📖4) を手や物で覆わないでください。画像の送受信が遅くなることがあります。
- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- 1 回の送信操作で画像を 50 個までまとめて送信できます。動画は、5 分以内 (ダイジェスト動画は 13 分以内) の長さで、1 個のみ送信できます。ただし、Web サービスによっては送信できる画像の数が少なくなったり、動画の時間が短くなることがあります。詳しくは、お使いの Web サービスで確認してください。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[📶] 強、[📶] 中、[📶] 弱、[📶] 微弱
- Web サービスに送信するとき、一度、送信したことがある画像では、CANON iMAGE GATEWAY のサーバーにある画像が再利用されるので送信時間は短くなります。

記録画素数 (画像の大きさ) を選ぶ

画面で、[▲] か [▼] をタッチして、送信する画像の記録画素数 (画像の大きさ) を選ぶことができます。

- [しない] を選ぶと、リサイズされずもとの画像の大きさのままで送信されます。
- [M2] か [S] を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。



- MENU (📖28) で [🔧] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、[送信時のリサイズ設定] でも設定できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメントを入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。



1 コメント入力画面を表示する

- 画像を送信する画面で [🗨️] をタッチします。

2 コメントを入力する (📖29)

3 送信する



- コメントを入力しなかったときは、CANON iIMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。
- 複数の画像を送信するときにもコメントを入力できます。同時に送るすべての画像で同じコメントになります。

画像を自動で送る (クラウドシンクロ)

カード内の未転送の画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送信することができます。

なお、Web サービスだけに送信することはできません。

準備する

パソコンの準備をする

送信先のパソコンにソフトウェアをインストールして設定します。



1 ソフトウェアをインストールする

- インターネットに接続したパソコンにソフトウェアをインストールします (📖88)。

2 カメラを登録する

- Windows では、タスクバー (画面下部に表示されるバー) で [📷] を右クリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- Mac OS では、メニューバー (画面上部に表示されるバー) で [📷] をクリックして [新しいカメラの追加] をクリックします。
- CANON iIMAGE GATEWAY と連携しているカメラの一覧が表示されるので、送信元になるカメラを選びます。
- カメラが登録されて画像を受信できるようになると、アイコンが [📷] に変わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/スーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

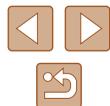
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



■ カメラの準備をする

接続先として [機] を登録します。なお、[機] ボタンに [機] を登録しておく、[機] ボタンを押すだけで、カード内の未転送の画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンに送信することができます。



1 [機] を登録する

- 「CANON iMAGE GATEWAY を登録する」(P94) の操作で、カメラに送信先として [機] を登録します。
- Web サービスを送信先にするときは、「他の Web サービスを登録する」(P96) の操作でカメラの設定を更新してください。

2 送信する画像の種類を選択する（動画も一緒に送信するときのみ）

- [FUNC.]、[MENU] の順にタッチして [機] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、[クラウドシンクロ] で [静止画+動画] を選びます (P28)。

3 [機] ボタンに [機] を登録する ([機] ボタンを押して送信するときのみ)

- [機] ボタンにスマートフォンを登録しているときは解除します (P83)。
- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(P83) の手順 2 の操作で画面を表示したあと、[機] をタッチします。

画像を送る

カメラを操作して画像を送信すると、パソコンに自動で保存されます。なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 画像を送る

- [機] ボタンに [機] を登録しているときは、[機] ボタンを押します。
- 登録していないときは、「Web サービスに画像を送る」(P97) の手順 1～2 の操作で [機] を選びます。
- 接続が完了すると画像が送信されます。CANON iMAGE GATEWAY のサーバーに画像が転送されると画面に [機] が表示されます。

2 パソコンに保存する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。
- Web サービスには、パソコンを起動しなくても、CANON iMAGE GATEWAY のサーバーから画像が自動で転送されます。



- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット (別売) (P114) を使うことをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iIMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。
- カメラと同じネットワークに送信先のパソコンが接続されているときは、CANON iIMAGE GATEWAY を経由しないで、アクセスポイント経由で画像が送信されるので、送信時間が短くなります。なお、パソコンに保存された画像は、パソコンから CANON iIMAGE GATEWAY に送信されるので、パソコンがインターネットに接続している必要があります。

スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する

スマートフォンの専用アプリケーション CameraWindow を使うと次の操作が行えます。

- カメラ内の画像を一覧で表示したり、スマートフォンに保存したりする
- カメラ内の画像に GPS 情報を記録する (📖 104)
- リモート撮影をする (📖 105)



- 操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります (📖 83、📖 85、📖 106)。

カメラ内の画像に GPS 情報を記録する

スマートフォンの専用アプリケーション CameraWindow で記録しておいた GPS 情報(緯度、経度、標高など)を、カメラ内の画像に記録することができます。



- 撮影前に「日付／時刻を設定する」(📖 17) で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。また、旅行先など、自宅エリアと時差のある場所で撮影するときは、「世界時計を使う」(📖 109) で訪問先のエリアを設定してください。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



リモート撮影をする

スマートフォンで撮影画面を確認しながら、スマートフォンをリモコン代わりに操作して撮影することができます。

1 カメラを固定する

- リモート撮影をはじめるとカメラのレンズが出てきます。また、ズーム操作によるレンズの動きでカメラが傾くことがあります。三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (83、 85)

- 画像の公開設定では [はい] を選んでください。

3 リモート撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、CameraWindow でリモート撮影を選びます。
- カメラのレンズが出てくるので、レンズ付近を押さえたり、物を置かないようにしてください。
- リモート撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源ボタン以外は操作できなくなります。

4 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。



- [P] モードで撮影されます。ただし、あらかじめ設定した FUNC. や MENU の一部が、自動的に変わることがあります。
- 動画は撮影できません。



- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- AF フレームは表示されません。撮影した画像でピントを確認してください。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する



1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- [] ボタンを押して電源を入れます。
- [Wi-Fi] をタッチします。
- 画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示したあと、編集したい機器のアイコンをタッチします。



2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [接続先の機器の編集] をタッチします。



3 編集する接続先を選ぶ

- 編集したい接続先をタッチします。

4 編集する項目を選ぶ

- 編集したい項目をタッチします。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

編集できる項目	接続先				
	カメラ	スマートフォン	パソコン	タブレット	Web サービス
[ニックネームの変更] (📖106)	○	○	○	○	-
[画像の公開設定] (📖83)	-	○	-	-	-
[接続情報を消去] (📖106)	○	○	○	○	-

○：設定可 -：設定不可

■ 接続先のニックネームを変更する

カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」(📖106) の手順 4 の操作で [ニックネームの変更] を選び、タッチします。
- 入力欄をタッチして、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします(📖29)。

■ 接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。



- 「接続情報を編集する」(📖106) の手順 4 の操作で [接続情報を消去] を選び、タッチします。
- [消去しますか?] が表示されたら、[OK] をタッチします。
- 接続情報が消去されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスマービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。Wi-Fi の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。



1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- [FUNC.] をタッチしたあと [MENU] をタッチして [FUNC.] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (128)。



2 [設定の初期化] を選ぶ

- [設定の初期化] をタッチします。

3 初期化する

- [OK] をタッチします。
- Wi-Fi の設定が初期化されます。



- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときは、[FUNC.] タブの [カメラ設定初期化] を選びます (112)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスマービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

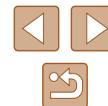
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



8

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくなる

カメラの基本機能を変える

MENU (📖28) の【📷】タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



- 【消音】を選び、【する】をします。



- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき (📖65) の音声も鳴らなくなります。動画再生中に画面を上下方向にドラッグすると音声が鳴り、上下方向にドラッグすると音量を調整できます。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- 【音量】を選び、タッチします。
- 画面を上下方向にドラッグして項目を選び、バーの上で設定したい位置をタッチして音量を変えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



- [日付／時刻] を選びタッチします。
- 設定する項目をタッチしたあと、[▲] か [▼] をタッチして設定します。

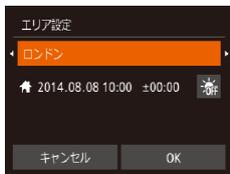
世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」（17）で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、タッチします。
- [訪問先] をタッチしたあと、[エリア設定] をタッチします。



- [◀] か [▶] をタッチして訪問先エリアを選びます。
- [時] をタッチすると、サマータイム（1時間プラスされます）を設定できます。
- [OK] をタッチします。



2 訪問先のエリアに切り換える

- [訪問先] をタッチしたあと、[↔] をタッチします。
- [エリア設定] や撮影画面（129）に [訪問先] が表示されます。



- [訪問先] の状態で日付／時刻を変える（18）と、[自宅] の日時も自動的に変わります。

レンズ収納時間を変える

撮影状態から [▶] ボタンを押して約1分経過すると、安全のためレンズが収納されます（23）。[▶] ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0秒] に設定します。



- [レンズ収納時間] を選び、[0秒] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブルースタービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

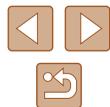
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消費をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

- [エコモード] を選び、[入] を選びます。
- 撮影画面 (129) に [ECO] が表示されます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターリングを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

画面の明るさを変える

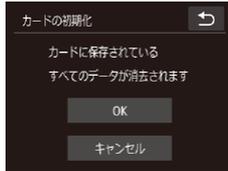
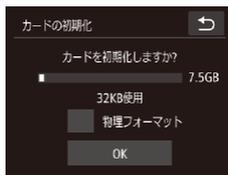
画面の明るさを変えられます。



- [液晶の明るさ] を選び、バーの上で設定したい位置をタッチして明るさを変えます。

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化 (フォーマット) することをおすすめします。初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。



1 [カードの初期化] 画面を表示する

- [カードの初期化] を選びタッチします。

2 [OK] を選ぶ

- [OK] をタッチします。

3 初期化する

- [OK] をタッチすると初期化がはじまります。
- 初期化が終わると [カードの初期化が完了しました] が表示されるので、[OK] をタッチします。



- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルーピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

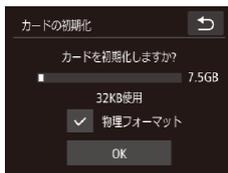
10 付録

索引



■ カードを物理フォーマット（初期化）する

「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



- 「物理フォーマット」の左側の枠をタッチして、[✓] を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順2～3（[110](#)）の操作で、初期化（物理フォーマット）します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」([110](#)) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に [中止] をタッチすると、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

距離表示の単位を変える

GPS 情報（標高）([67](#)) などの表示単位を、m/cm から ft/in（フィート／インチ）に変えることができます。



- 「単位」を選び、[ft/in] を選びます。

タッチパネルの感度を上げる

タッチパネルの感度を上げて、軽いタッチにも敏感に反応するようにできます。



- 「タッチパネル感度」を選び、[高] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブルースタービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

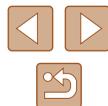
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [認証マーク表示] を選び、タッチします。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



- [言語] を選びタッチします。
- 表示したい言語をタッチして選び、[↩] をタッチします。



- 再生モードにして [FUNC.] をタッチしたあと、[MENU] をタッチしたままにすることも言語画面を表示できます。

その他の基本機能を変える

次の機能も [📷] タブで設定できます。

- [Wi-Fi 設定] (📖82)
- [ワンタッチスマホボタン設定] (📖83)

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



- [カメラ設定初期化] を選び、タッチします。
- [OK] をタッチします。
- カメラが初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - 個人認証機能で登録した内容 (📖45)
 - [📷] タブの [日付/時刻] (📖109)、[エリア設定] (📖109)、[言語] (📖112)
 - 撮影モード (📖54)
 - Wi-Fi 機能で登録した内容 (📖82)

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

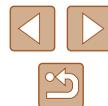
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引

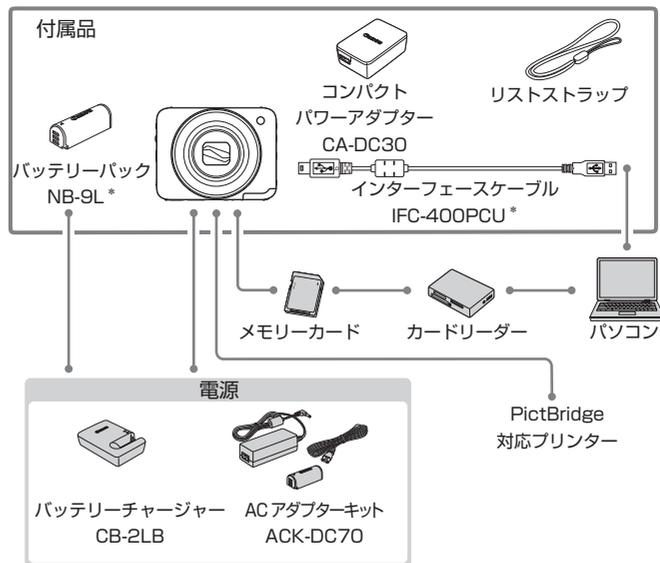


9

アクセサリ

別売アクセサリや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

システムマップ



*別売りも用意されています。

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラススーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリ

10 付録

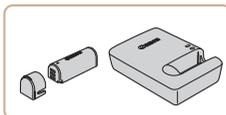
索引



別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源

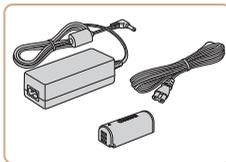


バッテリーパック NB-9L

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LB

- バッテリーパック NB-9L 用のバッテリーチャージャーです。



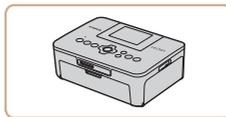
AC アダプターキット ACK-DC70

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。



- バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

プリンター



キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンをせずに撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリ

10 付録

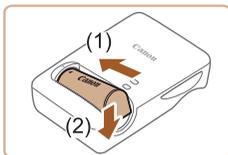
索引



別売アクセサリーの使いかた

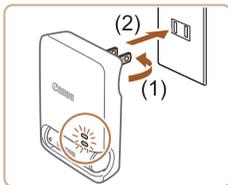
▶ 静止画 ▶ 動画

バッテリーチャージャーでバッテリーを充電する



1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを(1)の方向へおこして、コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。

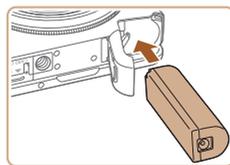


- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(P136)を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日が当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

家庭用電源でカメラを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

ACアダプターキット ACK-DC70 (別売)を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。



1 カメラの電源を切る

2 カブラーを入れる

- 「バッテリーとカードを入れる」の手順1 (P17) の操作でふたを開きます。
- カブラーを図の向きにして、「バッテリーを入れて充電する」の手順2 (P15) のバッテリーを入れる方法と同じ操作でカブラーを入れます。
- 「バッテリーを入れて充電する」の手順3 (P15) の操作でふたを閉めます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブルースタービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

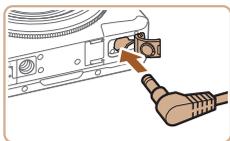
8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

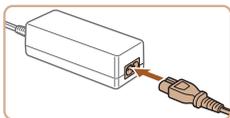
索引





3 プラグをカバーにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。



4 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。



- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

ソフトウェアを使う

ここでは、弊社 Web サイトからダウンロードするソフトウェアの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

ソフトウェアを弊社 Web サイトからダウンロードしてインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

- CameraWindow (カメラウィンドウ)
 - 画像の取り込みやカメラの各種設定
- ImageBrowser EX (イメージブラウザー イーエックス)
 - 画像の閲覧をはじめ、検索や整理などの画像管理
 - 画像の印刷や各種の編集



- インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

ソフトウェアの使用説明書

ソフトウェアを使うときに参照してください。各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます (一部のソフトウェアは除く)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスマービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



ケーブルを使ってパソコンと接続する

パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

OS*	Windows	Mac OS
	Windows 8/8.1 Windows 7 SP1	Mac OS X 10.9 Mac OS X 10.8

* Wi-Fi 機能を使ってパソコンに画像を送るときは、「パソコンの環境を確認する」(P88) でパソコンの環境を確認してください。



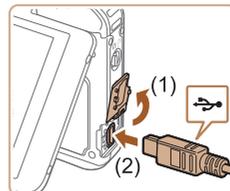
- 最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

インストールする

ソフトウェアをインストールする方法については、「インストールする」(P88) を参照してください。

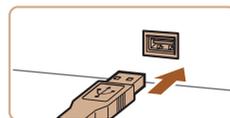
画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。その他の機能については、各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます (一部のソフトウェアは除く)。



1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。



- USB ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。
- カメラとパソコンがつながると、自動でカメラの電源が入ります。



2 CameraWindow (カメラウィンドウ) を表示する

- Mac OS では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引





- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で [] のプログラムを変えるためのリンクをクリックします。



- [画像をキヤノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。



- [] をダブルクリックします。



3 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの電源ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンで画像を見る操作は、「ソフトウェアの使用説明書」(116) を参照してください。



- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの [] をクリックします。
- Mac OS で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。
 - 動画編集など、ソフトウェアの機能が一部使えなくなることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

かんたん印刷

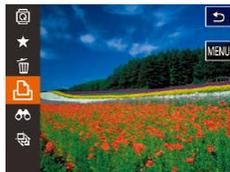
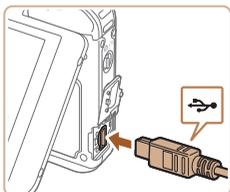
▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像は、カメラと PictBridge (ピクトブリッジ) 対応プリンター (別売) を付属のインターフェースケーブル (2) でつないで、かんたんに印刷できます。

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつながりかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる

- プリンターの電源を入れると、自動でカメラの電源も入ります。

4 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。

5 印刷する

- [FUNC.] をタッチしたあと、[] を選び、タッチします。
- [印刷] をタッチします。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順 5 からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- 設定できないプリンター、または設定できない項目は、プリンターの標準設定で印刷されます。プリンターの標準設定については、お使いのプリンターの使用説明書をご確認ください。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター (別売) については、「プリンター」(114) を参照してください。
- 手順 3 でカメラの電源が自動で入らないときは、[] ボタンを押して電源を入れます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルーピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1～6 (📖119) の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- 項目を選びタッチしたあと、[◀] か [▶] をタッチして内容を選びます。

🗨️	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	-
📄	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	-
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
🖨️	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
用紙設定	-	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (📖120)。

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 【用紙設定】を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (📖120) の操作で印刷画面を表示したあと、[用紙設定] をタッチします。

2 用紙サイズを選ぶ

- 内容をタッチして選び、[次へ] をタッチします。

3 用紙タイプを選ぶ

- 内容をタッチして選び、[次へ] をタッチします。

4 レイアウトを選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグして内容を選びます。
- [OK] をタッチします。

5 印刷する

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスモード/ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。

動画を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1～6 (📖119) の操作で動画を選び、この画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- 「」をタッチしたあと、「」か「」をタッチして印刷方法を選びます。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1枚の用紙に並べて印刷します。「キャプション」を「入」にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できません。



- 印刷中に「中止」をタッチすると、印刷を中止します。
- CP720 / CP730 以前のキヤノン PictBridge 対応プリンターでは、「連続コマ」は指定できません。

フォトブック指定

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定 (最大 998 画像) し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するとき便利です。

指定方法を選ぶ



- 「[FUNC.]」の順にタッチして、「」タブの「フォトブック指定」を選んで、指定方法を選びます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、「」が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



- パソコンに取り込んだあととは、「ソフトウェアの使用説明書」(📖116) やお使いのプリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラススーパーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



1枚ずつ指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [画像指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(121) の操作で [画像指定] を選び、タッチします。

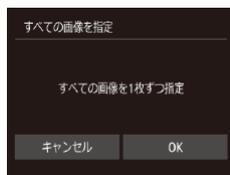
2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、画面をタッチします。
- [✓] が表示されます。
- もう一度画面をタッチすると解除され、[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [OK] をタッチすると設定され、メニュー画面に戻ります。



すべての画像を指定する

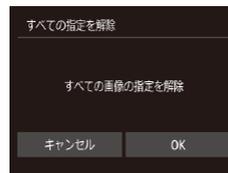
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(121) の操作で [すべての画像を指定] を選び、タッチします。
- [OK] をタッチします。

すべての指定を解除する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(121) の操作で [すべての指定を解除] を選び、タッチします。
- [OK] をタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスマービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

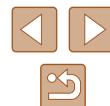
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



10

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (P15)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (P15)。
- カード収納部ふたとバッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (P15、P17)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たまま収納されない

- 電源を入れたまま、カード収納部ふたやバッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください (P15、P17)。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



撮影

撮影できない

- 再生モードのとき (P65) は、[] ボタンを押してください (P23)。

暗い場所での画面表示がおかしい (P26)

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画像に日付が写し込まれない

- このカメラでは画像に日付を写し込むことはできませんが、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。
 - ソフトウェアを使って印刷する
「ソフトウェアの使用説明書」(P116) を参照してください。
 - プリンターの機能を使って印刷する

シャッターリングを半押ししたときに、[] が表示される (P38)

- [手ブレ補正] を [入] にしてください (P63)。
- ストロボモードを [] にしてください (P63)。
- ISO 感度を高くしてください (P62)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときには、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (P63)。

画像がボケて撮影される

- シャッターリングを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (P24)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください (P137)。
- [AF 補助光] を [入] にしてください (P52)。

画像がブレて撮影される

- タッチシャッター機能を使って撮影するときは、撮影シーンによっては、画像がブレやすくなることがあります。カメラをしっかり持って撮影してください。

シャッターリングを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターリングを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボモードを [] にしてください (P63)。
- 露出補正で明るさを補正してください (P61)。
- スポット測光で撮影してください (P61)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボモードを [] にしてください (P44)。
- 露出補正で明るさを補正してください (P61)。
- スポット測光で撮影してください (P61)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (P38)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (P137)。
- ISO 感度を高くしてください (P62)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (P137)。
- ストロボモードを [] にしてください (P44)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください (P62)。

目が赤く写る

- 赤目補正で補正してください (P79)。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (P111)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC. メニュー一覧」、「撮影タブメニュー一覧」(P131～P132) で確認してください。

赤ちゃんや子どものシーンアイコンが表示されない

- 赤ちゃんや子どものアイコンは、個人認証機能 (P45) で誕生日を登録しないと表示されません。誕生日を入力しても表示されないときは、顔情報を登録しなおす (P46) か、日付/時刻を正しく設定してください (P109)。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています (P110、P136)。

画面に **[0]** が表示され、撮影が自動的に終わった

- カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
 - カードをこのカメラで物理フォーマットする (P111)。
 - 画質を変える (P51)。
 - 書き込み速度の速いカードを使う (P136)。

ズームできない

- **[鳥]** モード (P57) では、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。ファイル名やフォルダ構造については、「ソフトウェアの使用説明書」(P116) を参照してください。

再生が中断する、または音声が入り切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (P111)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム (コマ) 落ちしたり、音声が入り切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が入り切れない

- **[消音]** を **[する]** に設定 (P108) しているときや、音量が小さいときは、音量を調整してください (P108)。
- **[鳥]** モード (P57) では音声が入り切れていないため、音は出ません。

カード

カードが認識されない

- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください (P23)。

Wi-Fi

[Wi-Fi] が表示されず、Wi-Fi メニューを表示できない

- 撮影モードからは Wi-Fi メニューを利用できません。再生モードに切り換えてください。
- 画面をタッチして簡易情報表示に切り替えてください (P66)。
- 再生モードでも、拡大表示や一覧表示 (インデックス表示) のときは **[Wi-Fi]** が表示されません。1 枚表示に切り換えてください。また、検索条件を指定して画像を表示しているときも **[Wi-Fi]** は表示されません。検索した画像の再生状態を解除してください。
- カメラをプリンターやパソコンとケーブルでつないでいるときは **[Wi-Fi]** が表示されません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください (P106)。
- Web サービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください (P94)。
- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーション「CameraWindow」をインストールしてから行ってください (P83)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



- パソコンの登録は、ソフトウェア「CameraWindow」をパソコンにインストールしてから行ってください。また、パソコンや Wi-Fi の環境や設定を確認してください (P.88)。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル (P.135) で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側 (書き込み禁止) になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- クラウドシンクロでアクセスポイントを経由して画像が送信されたとき (P.103) は、パソコンで画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりすると、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに送信されません。パソコンに送信された画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりする前に、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに画像が送信されていることを確認してください。

画像をリサイズして送信できない

- もとの画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

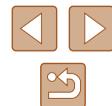
画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時に [M2] または [S1] を選択してリサイズすると、送信時間を短くできます (P.101)。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、[Wi-Fi] が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください (P.107)。

お使いになる前に
基本編
活用編
1 カメラを知る
2 クリエイティブショットモード
3 オートモード/プラススーパーオートモード
4 いろいろな撮影モード
5 Pモード
6 再生モード
7 Wi-Fi機能
8 設定メニュー
9 アクセサリー
10 付録
索引



画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます (P17)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (P17)。

カードが異常です (P111)

- 使えるカード (P3) を初期化して正しい向きで入れても (P17) 同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (P35、P54、P60) や編集 (P79) はできません。画像を消して (P74) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (P17)。

タッチ AF できません

- タッチ AF ができない撮影モードです (P131)。

タッチ AF 解除されました

- タッチ AF で選んだ被写体が認識できなくなりました (P44)。

バッテリーを充電してください (P15)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています

- 誤って消されないようにパソコンやほかのカメラで保護された画像は、このカメラで消せないことがあります。

認識できない画像です / 互換性のない JPEG です / 画像が大きすぎます / 再生できません (MOV) / 再生できません (MP4)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です / 回転できない画像です / 処理できない画像です / 処理できません / 指定できない画像です / 認証情報がありません

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。
認証情報の編集 (P71)*、拡大 (P72)*、回転 (P76) *、お気に入り (P77)、編集 (P79)*、フォトブック指定 (P121)*

指定枚数の上限を超えています

- フォトブック指定 (P121) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- フォトブック指定 (P121) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 消去 (P74)、お気に入り (P77)、フォトブック指定 (P121) で、501 枚以上の画像を指定しようとした。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。カードを初期化してください (P110)。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラストモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号 (Exx) を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷 (☎119) できないことがあります。

印刷エラー

- プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口インク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください (☎90)。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティー設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティー設定を確認してください (☎90)。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きに入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました

ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値 (999) で、かつ画像番号も最大値 (9999) のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています

- CANON iMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- クラウドシンクロ (☎102) で送信した画像をパソコンに保存してください。

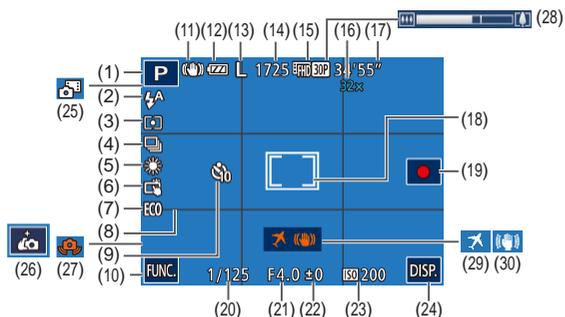
ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。



画面の表示内容一覧

撮影時（情報表示あり）



- (1) 撮影モード (📖131)、シーンアイコン (📖39)
- (2) ストロボモード (📖44、📖63)
- (3) 測光方式 (📖61)
- (4) ドライブモード (📖45)
- (5) ホワイトバランス (📖62)
- (6) タッチシャッター (📖43)
- (7) エコモード (📖110)
- (8) グリッドライン (📖52)
- (9) セルフタイマー (📖42)
- (10) FUNC. (ファンクション) (📖27)
- (11) 手ブレ補正アイコン (📖41)
- (12) バッテリー残量表示 (📖129)
- (13) 静止画の記録画素数 (📖51)
- (14) 撮影可能枚数 (📖136) *
- (15) 動画の記録画素数 (📖51)
- (16) ズーム倍率 (📖42)
- (17) 撮影可能時間 (📖136)
- (18) スポット測光枠 (📖61)
- (19) 動画撮影 (📖21)
- (20) シャッタースピード
- (21) 絞り数値
- (22) 露出補正量 (📖61)
- (23) ISO 感度 (📖62)
- (24) DISP. (ディスプレイ) (📖26)

- (25) プラスムービーオートモード (📖37)
- (26) 自分撮りショートカットアイコン (📖54)
- (27) 手ブレ警告 (📖38)
- (28) ズームバー (📖35)
- (29) エリア設定 (📖109)
- (30) 手ブレ補正 (📖63)

(27) 手ブレ警告 (📖38)

* [📷] モードでは、撮影できる回数が表示されます。

バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
(赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。
	充電中です (📖15)。
	充電が完了しました (📖16)。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/プラスムービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

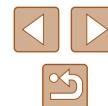
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

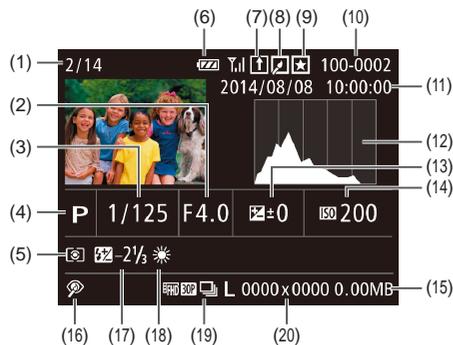
9 アクセサリー

10 付録

索引



再生時（詳細情報表示）



- (1) 再生画像番号/総画像数
- (2) 絞り数値
- (3) シャッタースピード (静止画)、画質/フレーム数 (動画)
- (4) 撮影モード
- (5) 測光方式
- (6) バッテリー残量表示
- (7) クラウドシシクロ
- (8) 画像編集
- (9) お気に入り
- (10) フォルダ番号-画像番号
- (11) 撮影日時
- (12) ヒストグラム
- (13) 露出補正量
- (14) ISO感度、倍速
- (15) ファイルサイズ
- (16) 赤目補正
- (17) ストロボ発光
- (18) ホワイトバランス
- (19) 記録画素数 (MOV)
- (20) 静止画: 記録画素数、動画: 再生時間

動画操作パネル一覧

「見る」(21)で動画操作パネルでは、次の操作ができます。

	タッチすると音量パネルが表示され、[▲]か[▼]をタッチすると音量を変えられます。音量が0のときは[🔊]が表示されます。
	再生
	前スキップ*または前のチャプター (81) (タッチしたままにすると連続してスキップ)
	フレーム戻し (タッチしたままにするとスロー戻し)
	フレーム送り (タッチしたままにするとスロー送り)
	次スキップ*または次のチャプター (81) (タッチしたままにすると連続してスキップ)
	編集 (80)
	チャプター消去 (ダイジェスト動画を選んでいるとき (81) に表示)

* 約4秒前または後のフレームを表示



- スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



機能 / メニュー 一覧

◁などの黒のアイコンは、そのモードで機能を選択できるか自動設定されることを示します。

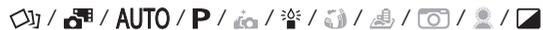
◁などの灰色のアイコンは、そのモードで機能を選択できないことを示します。

撮影機能一覧

デジタルズーム (62)

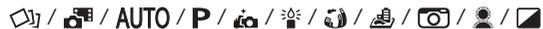


タッチ AF (44)

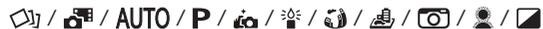


画面の表示 (26)

情報表示なし

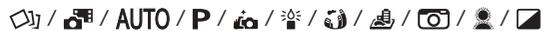


情報表示あり

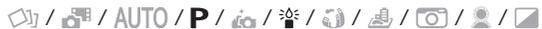
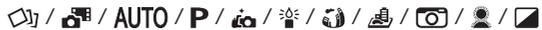


FUNC. メニュー 一覧

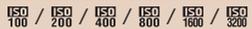
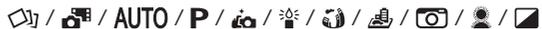
測光方式 (61)



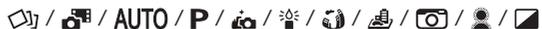
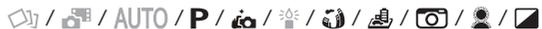
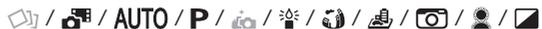
ホワイトバランス (62)



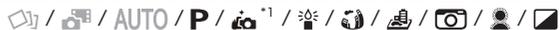
ISO 感度 (62)



ストロボ (63)

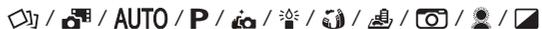


露出補正 (61)



セルフタイマー (42)

切 / 10 秒 / 2 秒



お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



ドライブモード (📖45)



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

静止画アスペクト比 (📖50)

16:9 / 3:2 / 4:3 / 1:1



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷² / 📷 / 📷 / 📷³ / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

記録画素数 (📖51)

L



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

M1 / M2 / S



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

M



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

動画の画質 (📖51)

FHD 30P



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

FHD 30P



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

EVGA 30P



📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷⁴ / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

*1 [明るさ] で設定 (📖55)

*2 [4:3] [1:1] のみ選択可

*3 [4:3] [16:9] のみ選択可

*4 縦横比の設定に連動して自動設定 (📖58)

撮影タブメニュー 一覧

タッチシャッター (📖43)

入 / 切

📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

AF 補助光 (📖52)

入 / 切

📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

撮影直後のレビュー表示

表示時間 (📖53)

切 / クイック

📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

2秒 / 4秒 / 8秒 / ホールド

📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

表示情報 (📖53)

非表示 / 詳細表示

📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

グリッドライン (📖52)

入 / 切

📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

手ブレ補正 (📖63)

切 / 入

📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

撮影時

📷 / 📷 / AUTO / P / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスモー
ド/オートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

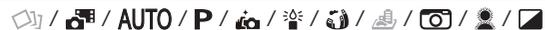
10 付録

索引



ダイナミック IS (64)

1



2



ダイジェスト形式 (37)

静止画入り / 静止画なし



個人認証設定 (45)



設定タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
消音	108
音量	108
日付 / 時刻	17
エリア設定	109
レンズ収納時間	109
エコモード	110
液晶の明るさ	110
カードの初期化	110、111
単位	111
タッチパネル感度	111
Wi-Fi 設定	82
ワンタッチスマホボタン設定	83
日本語入力設定	30
認証マーク表示	112
言語	19
カメラ設定初期化	112

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/ブラスルー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

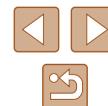
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



再生タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
クリエイティブショット動画再生	67
ダイジェスト動画の一覧 / 再生	68
消去	74
回転	76
お気に入り	77
フォトブック指定	121
赤目補正	79
認証情報	68
一覧表示の効果	69
グループ表示	70
縦横自動回転	76
タッチアクション設定	78

再生モードの FUNC. メニュー 一覧

項目	参照ページ
回転	76
お気に入り	77
消去	74
ダイジェスト動画のリンク再生	68
画像の検索	69
スライドショー	73

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押ししたりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは1年に1回程度充電し、使い切ってから保管してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



主な仕様

カメラの仕様について

カメラ部有効画素数 (最大)	約 1610 万画素
レンズ焦点距離	8 倍ズーム : 5.0 (W) - 40.0 (T) mm (35mm フィルム換算 : 28 (W) - 224 (T) mm)
液晶モニター	2.8 型 TFT カラー液晶 有効画素数 : 約 46.1 万ドット
ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応 (Version 1.1)
データタイプ	動画 : MP4 (映像 : MPEG-4 AVC / H.264、音声 : MPEG-4 AAC-LC (ステレオ))
インターフェース	Hi-Speed USB
電源	バッテリーパック NB-9L AC アダプターキット ACK-DC70
大きさ (CIPA 準拠)	80.9 x 62.0 x 32.3 mm
質量 (CIPA 準拠)	約 201 g (電池・メモリーカード含む) 約 180 g (本体のみ)

Wi-Fi

規格	IEEE 802.11b/g/n* * 2.4 GHz 帯のみ
伝送方式	OFDM 変調方式 (IEEE 802.11g/n) DSSS 変調方式 (IEEE 802.11b)
通信モード	インフラストラクチャーモード* ¹ 、アドホックモード* ² * ¹ Wi-Fi Protected Setup に対応 * ² Wi-Fi CERTIFIED IBSS
対応チャンネル	1-13 ch
セキュリティ	WEP、WPA-PSK (AES/TKIP)、 WPA2-PSK (AES/TKIP)

デジタルズームの焦点距離 (35mm フィルム換算)

デジタルズーム	28 - 896 mm (光学ズームとデジタルズームをあわせた焦点距離)
---------	---

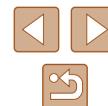
お使いになる前に

基本編

活用編

- 1 カメラを知る
- 2 クリエイティブショットモード
- 3 オートモード/ブラスームビーオートモード
- 4 いろいろな撮影モード
- 5 Pモード
- 6 再生モード
- 7 Wi-Fi機能
- 8 設定メニュー
- 9 アクセサリー
- 10 付録

索引



■ 撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮影枚数	約 200 枚
撮影枚数 (エコモード時)	約 270 枚
動画撮影時間 * ¹	約 35 分
動画撮影時間 (連続時) * ²	約 1 時間
再生時間 * ³	約 3 時間

*1 次の条件で撮影した時間です。

- AUTO モード
- 画質 [FHD 30P]
- 撮影、停止、ズーム、電源の入 / 切を繰り返し

*2 次の条件で撮影した時間です。

- AUTO モード
- 画質 [FHD 30P]
- ズームなどの操作なし
- 動画の容量が 4GB になるか撮影時間が約 10 分になって撮影が自動停止したときは、すぐに撮影を再開

*3 静止画をスライドショーで再生したときの時間です。

- 撮影枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

■ 1 枚のカードに撮影できる枚数 (縦横比 4 : 3 のとき)

記録画素数 (ピクセル)	1 枚のカードに撮影できる枚数 (約・枚)	
	4 GB	16 GB
L (ラージ) 16M/4608x3456	838	3374
M1 (ミドル 1) 8M/3264x2448	1508	6073
M2 (ミドル 2) 3M/2048x1536	4163	16755
S (スモール) 0.3M/640x480	20124	80988

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。

■ 1 枚のカードに撮影できる時間

画質	1 枚のカードに撮影できる時間	
	4 GB	16 GB
[FHD 30P]	21 分 20 秒	1 時間 26 分 5 秒
[HD 30P]	1 時間 49 秒	4 時間 5 分 15 秒
[VGA 30P]	2 時間 34 分 24 秒	10 時間 22 分 35 秒

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が 4 GB になるか、撮影時間が [FHD 30P] [HD 30P] では約 10 分、[VGA 30P] では約 1 時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SD スピードクラス 4 以上のカードを使用することをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



■ ストロボ調光範囲

もっとも広角側 (☀️) にしたとき	50 cm - 1.7 m
--------------------	---------------

- シーンがマクロと判別されたとき：10 - 50 cm
- 撮影距離によっては、画像周辺の明るさが低下することがあります。
- 望遠側 (🔍) では調光しないことがあります。

* 「オートモードで撮る (こだわりオート)」の手順 3 (📖20) 参照

■ 撮影距離

もっとも広角側 (☀️) にしたとき	1 cm - ∞
もっとも望遠側 (🔍) にしたとき	1 m - ∞

* 「オートモードで撮る (こだわりオート)」の手順 3 (📖20) 参照

■ 連続撮影の速さ

約 2.7 枚 / 秒

■ シャッタースピード

[AUTO] モードで自動設定される範囲	1 - 1/2000 秒
----------------------	--------------

■ 絞り

F 値	F3.0/F9.0 (W) - F5.9/F18 (T)
-----	------------------------------

■ バッテリーパック NB-9L

形式：	リチウムイオン充電電池
公称電圧：	DC 3.5 V
公称容量：	870 mAh
充放電回数：	約 300 回
使用温度：	0 - 40℃
大きさ：	14.6 x 43.1 x 15.3 mm
質量：	約 21 g

■ コンパクトパワーアダプター CA-DC30

定格入力：	AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)、7 VA (100 V) - 10 VA (240 V)、0.07 A (100 V) - 0.045 A (240 V)
定格出力：	DC 5.0 V、0.55 A
充電時間：	約 3 時間 (NB-9L を本体で充電した時)
使用温度：	5 - 40℃

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスルービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

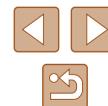
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



索引

アルファベット

A

AC アダプターキット 114, 115

C

CameraWindow (スマートフォン)
83

CameraWindow (パソコン) 88,
116

CANON iMAGE GATEWAY 82,
94

D

DC カプラー 115

F

FUNC. メニュー
一覧 131, 134
基本操作 27

G

GPS 67

I

ISO 感度 62

M

microSD/microSDHC/
microSDXC カード → カード

P

P (撮影モード) 60

PictBridge (ピクトブリッジ) 114,
119

W

Web サービスへの送信 97

Wi-Fi 機能 82

Wi-Fi メニュー 85

かな

あ

赤目補正 79

アクセサリ 114

アクセスポイントを使って接続する
90

い

色あい (ホワイトバランス) 62

印刷 119

え

エコモード 110

エラー表示 127

お

オートモード (撮影モード) 19, 35

お気に入り設定 77

音 108

か

カード 3

撮影できる時間 136

海外で使う 109

回転 76

拡大表示 72

画像

消す 74

再生 → 見る

表示時間 53

画像を送る 100

画像をパソコンに取り込む 88,
117

家庭用電源 115

カメラ

設定初期化 112

カメラアクセスポイントモード 88

カメラへの送信 99

画面

表示一覧 129, 130

表示言語 19

メニュー → FUNC. メニュー、
メニュー

き

魚眼風 (撮影モード) 57

記録画素数 (画像の大きさ) 51

く

クラウドシンクロ 102

クリエイティブショット 32

グリッドライン 52

け

消す 74

検索 69

こ

故障 123

個人認証 45

さ

再生 → 見る

撮影

撮影情報 129

撮影日時 → 日付/時刻

し

ジオラマ風 (撮影モード) 57

自分撮り (撮影モード) 54

消去 → 消す

初期状態 → 設定初期化

す

ズーム 20, 36, 42

ストラップ 2, 15

ストロボ

常時発光 63

発光禁止 44, 63

スマートフォンへの送信 83

スライドショー 73

せ

世界時計 109

接続情報の編集 / 消去 106

設定初期化 112

節電 24

セルフタイマー 42

2秒セルフタイマー 43

そ

測光方式 61

ソフトウェア

インストール 88

パソコンへの取り込み 88,
117

ソフトフォーカス (撮影モード) 59

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/ブラスルー
ピーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリ

10 付録

索引



た

タッチ 14
タッチ AF 44
タッチアクション設定 78
タッチシャッター 43, 63
タッチパネル 14
縦横比を変える 50
端子 116, 119

て

デジタルズーム 42
手ブレ補正 63
電源 114 → AC アダプターキ
ット、→ バッテリー、→ バッテリー
チャージャー (充電器)

と

トイカメラ風 (撮影モード) 58
動画
画質 (記録画素数 / フレーム数)
51, 55
撮影時間 136
編集 80
ドラッグ 14

に

日時 → 日付 / 時刻

は

パソコンへの送信 88
バッテリー
エコモード 110
残量表示 129
充電 15
節電 24
バッテリーチャージャー (充電器) 2,
114

ひ

ピクトブリッジ (PictBridge) 114,
119
日付 / 時刻
世界時計 109
設定 17
日付 / 時刻用電池 18
変更 18
表示言語 19
ピント合わせ
タッチ AF 44

ふ

フォトブック指定 121
付属品 2
プラスムービーオート (撮影モード)
37
プリンターへの送信 98
プリント → 印刷
プログラム AE 60

へ

編集
赤目補正 79

ほ

ホワイトバランス (色あい) 62

み

見る 21
1枚表示 21
インデックス表示 69
拡大表示 72
画像の検索 69
スライドショー 73

め

メニュー
一覧 131
基本操作 28
メモリーカード → カード

も

モノクロ (撮影モード) 59

ら

ランプ 31, 52

り

リストストラップ → ストラップ
リモート撮影 105

ろ

ローライト (撮影モード) 56
露出
補正 61

わ

ワンタッチスマホボタン 83

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショット
モード

3 オートモード/プラスムー
ビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

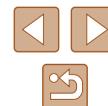
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



Wi-Fi（無線 LAN）について

- 無線 LAN が使える国や地域について
 - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。
- なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。
- 本製品に登録した無線 LAN の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。

- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載している使用方法をお守りください。本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしていたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスマービーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



- 通信の傍受
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。



この製品は、Wi-Fi 経由での PictBridge（ピクトブリッジ）でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でも PictBridge を利用できる DPS over IP（ディービーエス オーバーアイピー）という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

■ アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

■ 商標、ライセンスについて

- DCF は、(社) 電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- microSDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスミーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

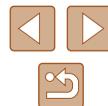
7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引



- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

キヤノン株式会社
 キヤノンマーケティングジャパン株式会社
 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター
 050-555-90005

受付時間： 9：00～18：00

(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開いています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報

<http://canon.jp/cdc>

キヤノンサポートページ

<http://canon.jp/support>

CANON iMAGE GATEWAY

<http://www.imagegateway.net>

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい

国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下の URL よりご覧ください。

<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>

お使いになる前に

基本編

活用編

1 カメラを知る

2 クリエイティブショットモード

3 オートモード/ブラスームビーオートモード

4 いろいろな撮影モード

5 Pモード

6 再生モード

7 Wi-Fi機能

8 設定メニュー

9 アクセサリー

10 付録

索引

